

プロジェクター ViewLight[®]

形名 XP-X171Q-B/XP-X141Q-B

設置説明書

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この設置説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

● ご使用の前に「安全にお使いいただくために」(5ページ)を必ずお読みください。

		もくじ	
はし 安全	じめに 全にお(使いいただくために	·· 4 ·· 5
本書	書の表記	記について	28
1.	製品	品概要、添付品、名称を確認する ・・・・・・・・・・・	29
	1-1.	特長	29
	1-2.	添付品の確認	31
	1-3.	本体各部の名称	32
	1-4.	リモコン各部の名称	39
2.	眏僋	象を投写する(基本操作)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	45
	2-1.	映像を投写する流れ	45
	2-2.	コンピューターと接続する/電源コードを接続する	46
	2-3.	本機の電源を入れる	48
	2-4.		50
	2-5.	投与画面の位置と大きさを調整する	51
	2-6.	本機の電源を切る	58
	2-7.	めといたりし	59
3.	便利	りな機能	60
	3-1.	投写光を消灯する(レンズシャッター)	60
	3-2.	オンスクリーン表示を消去する(オンスクリーンミュート)	60
	3-3.	映像の一部を拡大する (部分拡大)	61
	3-4.	輝度(明るさ)を調整する	62
	3-5.	台形の歪みを調整する	64
	3-6.	HTTP を使用したウェブブラウザーによる操作	65
	3-7.	レンスシノト調整値を保存する(レンスメモリー)	68
	3-8.	投与回回の現界を調整9る(エッシブレフティブク)	70
4.	オン	ノスクリーンメニュー	74
	4-1.	オンスクリーンメニューの基本操作	74
	4-2.	オンスクリーンメニュー一覧	77
	4-3.	入力端子	82
	4-4.	調 整	84
	4-5.	表 示	89
	4-6.	設定(1)	99
	4-7.	設定 (2)	105
	4-8.	情報	108

5.	レンズユニットの取り付け/取り外し	109
6.	機器と接続する 6-1. コンピューターや映像機器と接続する 6-2. HDBaseT 対応の伝送機器 (市販) と接続する	113 114 116 118
7.	本体のお手入れ 7-1. レンズの清掃 7-2. キャビネットの清掃	119 119 120
8.	 付 録 8-1. 投写距離とスクリーンサイズ … 8-2. 対応解像度一覧 … 8-3. 仕 様 … 8-4. 外観図 … 8-5. 主な端子のピン配列と信号名 … 8-6. ポートレート (縦向き) 投写をする … 8-7. プロジェクターをスタック設置して投写する … 8-8. 故障かな?と思ったら … 8-9. インジケーター表示一覧 … 8-10. トラブルチェックシート … 8-11. 別売品 … 8-12. HTTP サーバー画面のログインパスワードを設定する … 8-13. バックグラウンドロゴを登録する … 	121 127 127 130 133 135 135 138 140 142 142 145 147 149 150 151
アフ 使し	'ターサービスについて	153 …裏表紙

はじめに

このたびは、プロジェクター(本機)をお買いあげいただき誠にありがとうございます。 本機は、コンピューターやブルーレイプレーヤーなどに接続して、文字や映像をスクリー ンに鮮明に投写するプロジェクターです。

本機を安全に正しく使用していただくため、ご使用の前に、この設置説明書(本書)をよ くお読みください。また、万一ご使用中にわからないことや故障ではないかと思ったとき にお読みください。

本製品には「保証書」を添付しています。保証書は、お買いあげの販売店から必ずお受け 取りのうえ、大切に保存してください。

本書は、下記の機種について共通の説明書です。XP-X171Q-Bを主にして説明しています。 本機は、日本国内向けモデルです。

 本書で説明している機種名 XP-X171Q-B / XP-X141Q-B

[注意]

- (1)本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
- (4) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では(3) 項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

2025年2月 2版

シャープ NEC ディスプレイソリューションズ株式会社の許可なく複製・改変などはできません。

安全にお使いいただくために

電波障害に関する注意事項

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害 を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう 要求されることがあります。 VCCI-A

警告:本装置を住宅環境で使用すると無線障害を引き起こす可能性があります。

プロジェクターに接続する信号ケーブルは、フェライトコア付きやシールドタイプを使用してください。

それ以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。 詳しくは、本書の「機器と接続する」をご覧ください。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

絵表示について

この説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の 人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。 その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。



絵表示の例

	▲記号は注意(警告を含む)をうながすことを表しています。 図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。
	◇記号はしてはいけないことを表しています。 図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
 記号はしなければならないことを表しています。 図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから技が描かれています。 	



プロジェクターの投写光について

禁止

投写光と本体の表示

- プロジェクターのレンズをのぞかないでください。
 動作中は強い光が投写されていますので、視力障害の原因となります。またレンズ近くでのレーザー光への露光は、やけどを引き起こす可能性があります。特にお子様には注意してください。
- 投写光を、光学機器(ルーペや反射鏡など)を使ってのぞかないで ください。視力障害の原因になります。
- プロジェクターの電源を入れる際は、投写範囲内にレンズを見ている人がいないことを確認してください。
- お子様に一人でプロジェクターを操作させないでください。お子様 が操作する場合は、必ず大人が付き添い、お子様から目を離さない でください。
- レンズの上のプロジェクター上面に、次ののぞきこみ禁止を表す図 記号を表示しています。







▲警告			
電源についる	C		
国内専用	 プロジェクターは日本国内専用です ● このプロジェクターと添付の電源コードは国内使用専用です。 ● 日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。 またこの製品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外で はお受けできません。 This product is designed for use in Japan and can not be used in any other countries. 		
し 必ず行う	 正しい電源電圧で使用する ● このプロジェクターは、XP-X171Q-B は交流 100 ~ 240 ボルト、 XP-X141Q-B は交流 100 ボルト、50/60 Hz の電源で使用するよう に設計されています。プロジェクターを使用する前に、プロジェク ターを接続する電源が要求を満たすものかを確認してください。 ● プロジェクターの電源はコンセントを使用してください。危険です ので直接電灯線に接続しないでください。 		
ア ース線を 接続せよ	 アース端子を接続する 本機は電源コードのアース端子をアースに接続することを前提に設計されている3芯プラグ機器です。機器の安全確保のため、電源コードは、3芯コンセントに直接接続し、機器のアースを確実に接続してご使用ください。アースを接続しないと感電するおそれがあります。 2芯プラグへの変換アダプターは使用しないでください。詳細は46ページをご覧ください。 プロジェクターとコンピューター(信号源)は必ず同じアースに接続してください。 プロジェクターとコンピューター(信号源)を離れた場所のアースに接続すると、アース電位の変動により、発火・発煙の原因となることがあります。 アース工事は専門業者にご依頼ください。 		

▲ 警告			
公 禁止	 電源コードの取り扱い ● このプロジェクターに添付している電源コードは、このプロジェク ター専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。 		
感電注意	 電源コードは大切に取り扱ってください。コードが破損すると、火災・ 感電の原因となります。 ・添付されているもの以外の電源コードは使用しない ・コードの上に重い物をのせない ・コードをプロジェクターの下敷きにしない ・コードをプロジェクターの下敷きにしない ・コードをした敷物などで覆わない ・コードを傷つけない、加工しない ・コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない ・コードを加熱しない 電源コードが傷んだら(芯線の露出・断線など)お買いあげの販売 店またはお客様ご相談窓口に交換をご依頼ください。 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れないでください。感電の原因 となります。 		
ぬれた手で さわらない	 ● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。 		
設置についる	C		
禁止	 次のような所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。 ぐらついた台の上、傾いた所など、不安定な場所 ・風通しや換気の悪い所 ・直射日光のあたる所や熱器具のそば ・振動の多い所 ・湿気、ほこり、油煙、湯気の当たる所 ・腐食性ガス(二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の存在する所 ・屋外 ・温度、湿度が急激に変化し結露ができやすい所結露が起きたときには、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。 		

▲警告			
水ぬれ禁止 アラグを抜く	 次のような水にぬれるおそれがある所では使用しないでください。 またプロジェクターの上に水の入った容器を置かないでください。 火災・感電の原因となります。 ・雨天や降雪時、海岸や水辺で使用しない ・風呂やシャワー室で使用しない ・エアコン等水を排出する機器の近くで使用しない ・プロジェクターの上に花びん、植木鉢を置かない ・プロジェクターの上にコップ、化粧品、薬品を置かない 万ープロジェクターの内部に水などが入った場合は、まずプロジェクターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口に連絡してください。 		
注意	 天吊り設置 天吊りなどの特別な工事が必要な設置についてはお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。お客様による設置は絶対におやめください。落下してけがの原因となります。設置業者様は、23ページの「設置や保管についての注意事項」をご覧ください。 設置や取り扱いが適切でない、誤使用、改造、天災などに起因する事故、損害については、当社は一切責任を負いません。 天吊りなどの設置をしたときは、プロジェクターにぶらさがらないでください。落下してけがの原因となります。 天吊り設置のときは電源プラグを抜き差しできるように手の届くコンセントを使用してください。 		
使用について			
	 内部に物を入れない プロジェクターの通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいる家庭では注意してください。万一異物がプロジェクター内部に入った場合は、まずプロジェクターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口に連絡してください。 		

▲警告			
プ ラグを抜く	 故障したときは電源プラグを抜く プロジェクターから煙が出ている、変なにおいがする、変な音がする場合や、プロジェクターを落としたりキャビネットを破損した場合は、プロジェクターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となるだけではなく、視力障害ややけどの原因になります。お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口へ修理を依頼してください。 お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。 		
分解禁止	 プロジェクターの分解禁止 ● プロジェクターのキャビネットを外したり、あけたりしないでください。 また改造しないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電およびレーザー光がもれることによる視力障害ややけどの原因となります。 内部の点検・調整・修理はお買いあげの販売店またはお客様で相談窓口へ依頼してください。 		
公 禁止	プロジェクターの動作中にレンズの前に物を置かない ● 動作中にレンズにレンズキャップをしないでください。レンズキャッ プが高温になり変形します。		
高温注意	 動作中にレンズの前に物を置いて光をさえぎらないでください。物が高温になり、破損や火災の原因となります。 上記を警告するために、プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。 		
次 禁止	プロジェクターの清掃時 ● レンズやキャビネットなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスの スプレーを使用しないでください。火災の原因となります。		
○ 禁止	極めて高い信頼性を必要とする業務に使用しない ● 生命維持にかかわる医療機器などの人命に直接かかわる業務や、航 空機、原子力設備などの極めて高い信頼性を必要とする業務には使 用できません。		

注意			
電源コード(こついて		
し 必ず行う	 電源コードの取り扱い ● 電源プラグを抜き差ししやすい場所のコンセントを使用してください。 プロジェクターの AC IN 端子に電源コードを接続する際は、コネクターを奥までしっかり差し込んでください。電源コードの接続がゆるむと、火災・感電の原因となるおそれがあります。 		
 必ず行う ごうグを抜く 	 火災や感電を防ぐために、次のことを守る ●電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。 ●お手入れのときや、夜間、休業日などで長時間使用しないときは、 電源プラグをコンセントから抜いてください。 ●電源プラグや電源コードが熱いとき、またコンセントへの差し込み がゆるく電源プラグがぐらついているときは、使用をやめてお買い あげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。 		
①	電源プラグのほこりなどは定期的に取る ● 火災・感電の原因となることがあります。		
し 必ず行う	 電源コードやケーブル類を抜いてから移動する コードやケーブルが引っ掛かり、落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。電源コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。 		
公 禁止	電源コードは、タコ足配線しない ● タコ足配線をすると、過熱により火災の原因となることがあります。		
設置について			
() 必ず行う	 レンズユニットは落下防止用ワイヤーで固定する ● 天吊りなど、本機を高所から吊り下げて設置するような場合は、落下防止用ワイヤー(市販品)を使ってレンズユニットを固定してください。固定しないと、レンズユニットが外れた場合に落下するおそれがあります。 		

⚠注意			
使用についる	C		
公 禁止	 過電圧が加わるおそれのあるネットワークには接続しない プロジェクターの HDBaseT ポートおよび LAN ポートは、過電圧が加わるおそれのないネットワークに接続してください。 HDBaseT ポートおよび LAN ポートに過電圧が加わると、感電の原因となることがあります。 		
()必ず行う	 レンズシフト、フォーカス、ズームの操作 ●レンズシフト、フォーカス、ズームはプロジェクターの後ろまたは 横から調整してください。前面で調整すると強い光が目に入り、視 力障害の原因となります。 ●レンズシフト動作中は、レンズの周囲に手を近づけないでください。 キャビネットとレンズユニットの隙間に指を挟むおそれがあります。 		
必ず行う	 乾電池は適切に取り扱う 乾電池は誤った使いかたをすると液もれや破裂によるけがの原因となることがあります。 ・指定以外の電池を使用しない。 ・乾電池のブラスとマイナスを、表示のとおり正しく入れる。 ・種類の違う乾電池を混ぜて使用しない。 ・乾電池は種類によって特性が異なります。 ・新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない。 新しい乾電池の寿命を短くしたり、古い乾電池から液がもれるおそれがあります。 ・乾電池が使えなくなったら、すぐに取り出す。 液がもれて故障の原因となるおそれがあります。 漏れた液に触れたときは、ただちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。 漏れた液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で、かんしてください。 皮膚がかぶれたり、目に障害を与える原因となるおそれがあります。 ・長時間使わないときは、乾電池を取り出す。 ・高温になる場所や気圧の低い場所に放置しない。 ・取りたり乾電池から可燃性の液やガスが漏れる可能性があります。 		

<u>▲</u> 注意			
必ず行う	 ・乾電池を水の中に投入したり、器具で押しつぶしたり、焼却、加熱、 切断、改造しない。 破裂のおそれがあります。 ・乾電池をショートや充電をしない。 ・乾電池を廃棄する際は、プラス(+)とマイナス(-)をセロハ ンテープで絶縁して廃棄する。 廃棄する際は販売店、または自治体に問い合わせてください。 		
	 通風口について プロジェクターの通風口をふさがないでください。またプロジェクターの下に紙や布などのやわらかい物を置かないでください。火災の原因となることがあります。 プロジェクターを設置する場所は周囲から適当な空間をあけてください。(→ 25 ページ) 投写中および投写終了直後は、排気口付近をさわらないでください。 排気口付近が高温になる場合があり、やけどの原因となることがあります。 		
禁止	 プロジェクターの持ち運び レンズユニットを取り外した状態で、底面の取っ手に手をかけて、2人以上で持ち運んでください。 1人で持ち運んだ場合、けがや腰痛の原因となることがあります。 プロジェクターを持ち運ぶときに、取っ手以外の部分を持たないでください。プロジェクターが落下して、けがの原因となることがあります。 プロジェクターを持ち運ぶときに、レンズの挿入口に手をかけないでください。また、接続端子部のくぼみに手をかけないでください。 プロジェクターが破損して落下し、けがの原因となることがあります。 		
し 必ず行う	 レンズの取り外し/取り付け レンズユニットを着脱する際は、プロジェクターの電源を切り、電源コードを抜いてください。視力障害ややけどの原因となることがあります。 プロジェクターを高所に設置した状態でレンズユニットを着脱しないでください。 レンズユニットが落下して、破損やけがの原因となることがあります。 		

⚠注意			
奈止	本機を強く押さない、乗らない、つかまない、ぶら下がら ない、硬いものでこすったり、たたいたりしない ● 破損して火災、感電、けがの原因となることがあります。		
し 必ず行う	 温度や湿度が急激に変化する環境での使用、保存を避ける 以下の使用環境・保存環境で本機をで使用、保存ください。守らなかった場合は故障、火災や感電などの原因となることがあります。 動作温度: 0 ~ 45 ℃ / 湿度: 20 ~ 80 % (結露のないこと) 保存温度: -10 ~ 60 ℃ / 湿度: 20 ~ 80 % (結露のないこと) 		
点検と清掃(こついて		
し 必ず行う	プロジェクターの点検・本体内部の清掃 ● 1 年に一度くらいは内部の清掃をお買いあげの販売店またはお客様 ご相談窓口にご相談ください。プロジェクターの内部にほこりがた まったまま、長い間清掃をしないと火災や故障の原因となることが あります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に清掃すると、より効果 的です。なお、内部の清掃費用につきましてはお買いあげの販売店 またはお客様ご相談窓口にご相談ください。		

レーザー光線の安全に関する注意事項



クラス1レーザー製品

 本製品は、レーザー製品の安全基準 JIS C 6802:2018、および IEC 60825-1:2014 においてクラス1に分類されています。

● 本製品にはレーザーモジュールが内蔵されています。本書に記載した以外の手順による制御及び調整は、危険なレーザー放射の露光に結びつくことがあります。
 またレンズ近くでのレーザー光への露光は、やけどを引き起こす可能性があります。

【内蔵されたレーザーの概要】

- ・ 波長:449 \sim 461 nm (blue) ,635 \sim 651 nm (red)
- ・最大出力:456 W (blue),72 W (red)

リスクグループについて

ХР-X171Q-В

本機は、IEC 62471-5:2015 規格のリスクグループ3 に分類されます。

XP-X141Q-B

本機は、レンズユニットとの組み合わせによって、IEC 62471-5:2015 規格のリスクグループ2 またはリスクグループ3 に分類されます。

リスクグループ 2 (RG2)



明るい光源と同じように、ビームをのぞき込まないこと。 RG2 IEC 62471-5:2015.

リスクグループ 3(RG3)



- RG3の場合、本機はプロフェッショナル用途となり、安全が担保される設置が必要です。そのため専門の設置業者が設置することが義務付けられていますので、必ず販売店へご相談ください。お客様による設置は絶対におやめください。視力障害などの原因となります。
- 目へのビームの直接被ばくを禁止します。RG3 IEC 62471-5:2015
- プロジェクターのレンズをのぞかないでください。視力傷害の原因になります。
- 機器管理者(オペレーター)は、侵入禁止領域内でのビームへの被ばくを管理するか、 侵入禁止領域内での観客の目への露光を避ける高さに本機を設置すること。
- プロジェクターの電源を入れる際は、プロジェクター本体の側面または背面(侵入禁止領域の外)で操作してください。

・本機を設置する前に確認してください(XP-X141Q-Bの場合)

① レンズユニットの形名または投写比

レンズユニットの形名と投写比は、下図で示した位置に記載されています。



② レンズユニットとリスクグループの組み合わせ

レンズユニット形名	投写比	XP-X141Q-B
XP-57UL	$0.31 \sim 0.33$	
XP-58ZL	$0.55 \sim 0.75$	
XP-59ZL	$0.74 \sim 1.08$	RG2
XP-60ZL	$1.05 \sim 1.41$	
XP-61ZL	1.40~2.11	
XP-62ZL	2.10~4.00	RG3

・リスクグループ3の場合の侵入禁止領域と注意事項

下図の範囲は、IEC 62471-5:2015 にてリスクグループ3(RG3) に分類された投写光の範囲(侵入禁止領域)を表しています。



a:スクリーン/b:侵入禁止領域

レンズユニット	投写比 TR@0.8"	侵入禁止領域(m)		
		HD	水平 H	垂直 V
XP-57UL	0.31 (ワイド)	0.13	0.41	0.26
	0.33 (テレ)	0.14	0.41	0.26
XP-58ZL	0.55 (ワイド)	0.23	0.42	0.26
	0.75 (テレ)	0.40	0.53	0.33
XP-59ZL	0.74 (ワイド)	0.33	0.53	0.33
	1.08 (テレ)	0.60	0.60	0.38
XP-60ZL	1.05 (ワイド)	0.48	0.54	0.34
	1.41 (テレ)	0.73	0.57	0.35
XP-61ZL	1.40 (ワイド)	0.62	0.49	0.31
	2.11 (テレ)	1.16	0.58	0.36
XP-62ZL	2.10 (ワイド)	1.18	0.57	0.36
	4.00 (テレ)	2.53	0.66	0.41

XP-X141Q-B

	ture H	侵入禁止領域(m)		
レンズユニット	TR@0.8"	HD	水平 H	垂直 V
XP-62ZL	2.10 (ワイド)	—	_	_
	2.12(中間)	1.00	0.49	0.31
	4.00 (テレ)	2.11	0.56	0.35



【投写比の計算方法】

投写比=投写距離 L [m] ÷スクリーンの幅 W [m] 投写距離とスクリーンの幅は、「レンズユニットの種類と投写距離」(→ 122、123 ページ) を参照ください。

保安領域について

保安領域や物理的バリアを設けることで、人の目が侵入禁止領域に侵入することを防止で きます。

公共の施設など、機器管理者(オペレーター)が侵入禁止領域内への観客の侵入を制御で きないときは、観客の安全を考慮した保安領域として、侵入禁止領域から 1m 以上の空間 を確保することをおすすめします。また、プロジェクターを頭上に設置する場合は、床面 と侵入禁止領域の距離を垂直方向に 3m 以上確保することをおすすめします。

保安領域を考慮した設置例(XP-57UL以外のレンズユニットの場合)

① 床置きまたはデスクトップ設置の例

② 天吊り設置の例



a:スクリーン / b:侵入禁止領域 / c:保安領域 / d:床面



天吊り時に侵入禁止領域へ観客の侵入が想定される場合(例えば 床面と保安領域の距離が2m以下の場合)は、その範囲への観 客の立ち入りに制限が必要です。



b:侵入禁止領域 / c:保安領域 /d:床面

▲注意 2

床面と侵入禁止領域の間の保安領域を確保できない場合は、右図のように画面の周囲への観客の立ち入りに制限が必要です。

※ レンズシフトをお使いの場合は、画面が移動します。シフト量も考慮してください。

保安領域を考慮した設置例(XP-57ULの場合)

① 床置きまたはデスクトップ設置の例



② 天吊り設置の例



a:スクリーン / b:侵入禁止領域 / c:保安領域 / d:床面

床面と侵入禁止領域の間の保安領域を確保できない場合は、プロ ジェクターとスクリーンの間への観客の立ち入りに制限が必要 です。

[※] 上図は、代表的な設置の例です。この他に、プロジェクターを傾けて設置する場合も、 同様に保安領域を確保する必要があります。

注意

安全確保のため、以下の事項を順守してください。

設置について

- 設置場所のレイアウト設計の際には本書に記載された安全への処置の実施を遵守すること。
- 危険回避のため、緊急時に電源プラグをコンセントから抜けるように、コンセントは手の届く範囲に設置すること。
- もしくは、プロジェクターを停止できるようなデバイス (ブレーカー)を設けること。 ● 前項の侵入禁止領域へ人の目が入らないような安全処置をすること。
- 設置する場所に適したレンズを選定し、レンズごとに設定された安全のための領域 を確保する処置を適切にすること。
 プロジェクターを動作させて光の調整作業などをする前に、必ず適切な処置を完了 すること。
- 設置後にレンズごとに設定された安全確保の処置が適切に施行されているか妥当性 を確認すること。
 妥当性の確認は定期的に実施し、確認結果の記録を保管すること。

設置業者または販売店から機器管理者(オペレーター)に対して、必ず以下を実施し てください

- 機器管理者(オペレーター)に対して、安全に関する教育を機器使用前に必ず実施 すること。
- 機器管理者(オペレーター)に対して、動作前点検(投写光に対する安全の確認を 含む)を必ず実施するように指示すること。
- 機器管理者(オペレーター)に対して、プロジェクター動作時には必ず機器管理者 (オペレーター)が緊急時の対応が出来るような状態で管理するように指示すること。
- 機器管理者(オペレーター)に対して、本書、点検記録をいつでも参照できるところへ保存・保管しておくよう指示すること。
 各国、各地域の規制を遵守した状態であることを明確にしておくように指示するこ
 - と。

設置や保管についての注意事項 ●次のような場所に設置したり、保管したりしないでください。

- ・振動や衝撃が加わる場所 動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、プロジェク ターに振動や衝撃が加わって内部の部品が傷み、故障の原因となります。
- ・高圧電線や動力源の近く 妨害を受ける場合があります。
- ・強い磁界が発生する場所 故障の原因となります。
- ・屋外および湿気やほこりの多い場所 油煙や湯気の当たるような場所 腐食性のガスが発生する場所
 キャビネットに油や薬品、水分などが付着した場合、キャビネットの変形またはひび割れ、金属部分の腐食、および故障の原因となります。

● 設置業者様へ

- ② 設置は、天井取付けユニットの取扱説明書に従って、正しく確実に作業してください。 所定のネジや固定金具はすべて確実に取り付けてください。
- ③ 落下防止のために落下防止ワイヤーを使用してください。
 - ・市販の金具などを用いて建物や構造物の丈夫な箇所とプロジェクターのセキュリ ティバーを落下防止ワイヤーで接続してください。
 - 市販の金具や落下防止ワイヤーはプロジェクターおよび天井取付けユニットの荷重
 に耐えられるように十分強度のある物をご使用ください。
 - ・落下防止ワイヤーはプロジェクターに負荷をかけないように、少したるませるよう に設置してください。
 - ・セキュリティバーの位置については、34ページをご覧ください。

廃棄について

本機を廃棄する際は、お買いあげの販売店、または自治体にお問い合わせください。

個人情報の初期化について

本機には、IP アドレス等の情報が記録されている可能性があります。本機を廃棄または譲 渡する前に、オンスクリーンメニューで「リセット」を実行してください。 リセットできない項目は、個別に工場出荷状態に戻してください。

プロジェクターの性能確保のための注意事項

- レーザー光線のような強い光がレンズから入り込むと、故障の原因となります。
- たばこの煙の多い場所での使用・長時間の使用
 - ・たばこの煙・ほこりの多い場所で使用する場合、または長時間連続して使用する場合は、あらかじめ本書の裏表紙に掲載しているシャープサポートページをご確認ください。
- プロジェクターを高所(気圧の低い所)で使用すると、光学部品の交換時期が早まる場合があります。
- プロジェクターの持ち運びについて
 - ・いったんレンズユニットを取り外し、レンズに傷が付かないように必ずレンズキャッ プを取り付けてください。また、プロジェクターには防塵キャップを取り付けてくだ さい。
 - ・プロジェクターに振動や強い衝撃を与えないでください。 プロジェクターの故障の原因となります。
- チルトフットはプロジェクターの傾き調整以外の用途には使用しないでください。
 チルトフット部分を持って運んだり、壁に掛けて使用するなどの誤った取り扱いをすると、故障の原因となります。
- 投写レンズ面は素手でさわらないでください。
 投写レンズ面に指紋や汚れが付くと、拡大されてスクリーンに映りますので、投写レンズ面には手を触れないでください。
- 投写中に電源コードを抜かないでください。プロジェクターの AC IN 端子や電源プラ グの接触部分が劣化するおそれがあります。投写中に AC 電源を切断する場合は、ブレー カーなどを利用してください。
- リモコンの使用上の注意
 - ・リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっているとリモコンが動作しにくくなり ます。
 - ・リモコンとリモコン受光部との間に障害物があると、操作できないことがあります。
 - ・乾電池が消耗してくると、操作できる距離が徐々に短くなります。早めに新しい乾電 池に交換してください。
 - ・蛍光灯などが近くにある場合は、動作しにくいことがあります。
 - ・誤動作防止のために、エアコンやステレオコンポなど他の機器のリモコンと同時に使 用しないでください。
 - ・他の機器のリモコンによる影響が懸念される場合は、リモコンの識別 ID(リモコン ID またはコントロール ID)を設定するなどして誤動作を防止してください。
 - ・プロジェクターから約7m以内でプロジェクターのリモコン受光部に向けて操作してください。
 - ・リモコンを落としたり、誤った取り扱いはしないでください。
 - ・リモコンに水や液体をかけないでください。万一ぬれた場合は、すぐにふき取ってく ださい。
 - できるだけ熱や湿気のないところで使用してください。

- スクリーンへの外光対策をしてください。
 スクリーンには、照明などプロジェクター以外からの光が入らないようにしてください。
 外光が入らないほど、ハイコントラストで美しい映像が見られます。
- スクリーンについて
 ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。
 スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。

設置する際の周囲との距離についての注意

 プロジェクターを設置する際は、下記のように周囲に十分な空間を作ってください。 プロジェクターから出た高温の排気が再びプロジェクターに吸気される場合があります。

また、エアコンから吹き出された風がプロジェクターに当たらないようにしてください。 プロジェクターの温度制御で異常(温度エラー)を感知して自動的に電源が切れること があります。



a:吸気口/b:排気口/c:30cm以上/d:50cm以上

[注意]

● 上の図において、プロジェクターの上方には十分な空間があるものとします。

●マルチスクリーン投写など、複数台のプロジェクターを並べて設置する場合は、吸気と 排気に障害が生じないように、本体の周囲に十分な空間をあけてください。吸気と排気 に障害が生じると、プロジェクターの内部温度が上昇し、故障の原因となります。

投写する映像の著作権について

 営利目的または公衆に視聴させることを目的として、プロジェクターを使って映像を投 写する場合、プロジェクターの機能を使ってオリジナルの映像に対して投写範囲を小さ くしたり変形したりすると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそ れがあります。

アスペクト、台形補正、部分拡大などの機能を使用する場合はご注意ください。

有線 LAN に関するご注意

●本機の HDBaseT ポートおよび LAN ポートは公衆回線(電気通信事業者から貸与またはレンタルされたルーターを含む)に直接接続することを意図して設計されていません。 そのため HDBaseT ポートおよび LAN ポートを公衆回線に直接接続することは電気通信事業法で禁止されています。

商標について

- ViewLight、ビューライト、ProAssistは、シャープNECディスプレイソリューション ズ株式会社の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、PowerPoint は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMIのトレードドレスおよび HDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。



・ HDBaseT™ および HDBaseT Alliance ロゴは、HDBaseT Alliance の商標です。



 DisplayPort および DisplayPort ロゴは、Video Electronics Standards Association の 米国その他の国における商標です。



- ・ DLP® および DLP ロゴは、Texas Instruments の登録商標です。
- · PJLink 商標は、日本・米国その他の国や地域における登録商標または出願商標です。
- ・ブルーレイは、Blu-ray Disc Association の商標です。
- Crestron™、Crestron Connected™、は Crestron Electronics, Inc. の米国その他の国 における登録商標または商標です。
- · その他説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

本書の表記について

マークの意味

[重要]	データが消えたり、もとに戻せない操作など、十分に注意してい ただきたいことを表しています。
[注意]	注意や制限事項を表しています。
[参考]	補足説明や役立つ情報を表しています。
→ 00 ページ	本書内の参照ページを表しています。

操作ボタンの表記例

●本体の操作ボタン





● 本書に載せている表示画面は、実際と多少異なる場合があります。

1. 製品概要、添付品、名称を確認する

1-1. 特長

● 1 チップ DLP 方式の高輝度・高解像度プロジェクター

表示解像度 3840 ドット× 2400 ライン(4K)、アスペクト比 16:10 のプロジェクターです。

機種名	明るさ
XP-X171Q-B	16500 lm (AC 100 V 時は 14000 lm)
XP-X141Q-B	13500 lm

● 高い防塵性能を可能とした独自の密閉構造

防塵性能に優れているため、フィルターを搭載していません。そのため、フィルターの交換が不要です。

● 長寿命レーザー光源を採用

レーザー光源は長寿命のため、光源の交換や調整などのメンテナンスが長期間不要です。

●設置場所に応じて選べるオプションレンズ

6 種類のオプションレンズに対応しており、様々な設置場所、投写方法に合わせたレンズ を選択することができます。

なお、工場出荷時はレンズ未装着のため、別途オプションレンズをお買い求めください。

● 360°の設置、ポートレート投写が可能

本機は垂直方向に 360° どの角度でも投写できる「チルトフリー」や、水平方向に 360° どの角度でも投写できる「ロールフリー」機能を搭載しています。

● 電動レンズコントロールで容易な画面調整

本体側面の操作ボタンやリモコンの操作で、投写画面のズーム、フォーカス、位置調整(レンズシフト)ができます。

● HDMI、DisplayPort、HDBaseT、SDI などの豊富な入力端子

HDMI (1/2)、DisplayPort (1/2)、HDBaseT、SDI (IN/OUT)の入力端子を装備しています。 本機のHDMI入力端子、DisplayPort入力端子は、HDCP に対応しています。 ※ HDBaseT は、HDBaseT Alliance によって策定された家電製品向けの接続規格です。

● 複数台のプロジェクターを用いたマルチスクリーン投写

複数台のプロジェクターを並べて、エッジブレンディング機能により画面の境界を滑らか にし、解像度の高い映像をさらに大画面で投写することができます。

● 有線 LAN

LAN ポートと HDBaseT ポートを装備しているため、有線 LAN に接続してコンピューターから本機を制御することができます。

● 便利なアプリケーションソフトに対応

当社のアプリケーションソフトに対応しています。

- NaViSet Administrator 2 コンピューターとプロジェクターを有線 LAN で接続して、コンピューター側からプロジェクターの様々な機能を制御するソフトウェアです。
- · ProAssist

コンピューターとプロジェクターを有線 LAN で接続して、コンピューターからプロジェ クターのレンズ制御などを行うソフトウェアです。なお、ProAssist には、本機で対応 していない機能があります。

● Crestron Connected に対応

Crestron Connected に対応しています。コンピューターから、ネットワークに接続した 複数の機器を管理・制御することができます。

詳細は、Crestron Electronics 社のホームページをご覧ください。

https://www.crestron.com/

※ XiO Cloud には対応していません。

1-2. 添付品の確認

添付品の内容をご確認ください。



プロジェクター(本機) 防塵キャップ



リモコン



単4形アルカリ乾電池 (リモコン用)2本



AC100 V 用電源コード (3 芯タイプ) (2.5 m)



【XP-X171Q-Bのみ】 AC200 V 用電源コード (3 芯タイプ) (2.5 m)



スタッキングホルダー:4個 本機を積み重ねて投写する場 合(スタック設置)、プロジ ェクターのチルトフットをの せるためのホルダーです。



クイックスタートガイド 重要なお知らせ





● 添付品の外観が本書のイラストと多少異なる場合がありますが、実用上の支障はあり ません。

1-3. 本体各部の名称

本体前部

レンズは別売です。レンズユニット XP-61ZL を装着している状態で説明しています。



- 1 **チルトフット(4 箇所)** チルトフットを回して左右の傾きを微調整します。
- 2 吸気口
 外気を取り込み、内部を冷却します。
- 3 インジケーター表示部 電源入/スタンバイなど本機の状態をインジケーターの点灯/点滅で知らせます。 (→ 35、145ページ)
- **4 リモコン受光部** リモコンの信号を受ける部分です。本体の前面と背面の2箇所にあります。
- 5 レンズ ここから映像が投写されます。(レンズユニットは別売です。)
- 6 レンズキャップ(レンズユニットに装着) レンズを保護します。
- 7 レンズリリース (LENS) ボタン レンズユニットの取り外しの際に使用します。

本体後部



1 排気口

内部の熱を排気します。

- 2 セキュリティスロット 盗難防止のためワイヤーケーブルを付ける際に使用します。 詳しくは下記の [参考] をご覧ください。
- 3 本体操作部 本機の電源の入/切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。
- 4 接続端子部 各種映像信号のケーブルを接続します。
- 5 AC IN 端子 添付の電源コードを接続します。
- 6 銘板ラベル

[参考]

● セキュリティスロットについて 🕅

セキュリティスロットは、市販のケンジントン社製セキュリティケーブルに対応して います。製品については、ケンジントン社のホームページをご参照ください。

本体底面



1 セキュリティバー

盗難防止用チェーン(またはワイヤー)を取り付けます。 本機のセキュリティバーは、直径 4.6 mm の太さのものまで対応しています。

- 2 取っ手(4箇所) 本機を移動させるときは、この取っ手に手をかけて持ち上げます。
- 3 吸気口

外気を取り込み、内部を冷却します。



本体操作部 / インジケーター表示部 6 7 8 9 10 1 AUTO ADJUST ASPECT LENS CALIBRATION PIC MUTE POWER INPUT (J) (\mathbf{igstar}) (\mathbf{b}) (\mathbf{b}) (\mathbf{b}) \mathbf{b} 5 3 **(+**) $(\mathbf{+}$ FOCUS ZOON MENU EXIT LIGHT STATUS POWER TEMP. 1112 13 14 15 16 17

- ・
 ・
 ボタン(電源ボタン)
 本機の電源を入/スタンバイ(待機状態)します。
 電源を切る(スタンバイ状態)ときは、一度押すと画面に確認メッセージが表示され
 るので、続いてもう一度®ボタンを押します。
- 2 電源インジケーター(POWER) 本機の電源の状態を表すインジケーターです。 電源が入っているときは緑色に点灯します。電源が切れているときは、状態によって 赤色またはオレンジ色で点灯/点滅します。 詳しくは「インジケーター表示一覧」をご覧ください。(→145ページ)
- 3 ステータスインジケーター(STATUS) レンズのキャリブレーション中などに点灯/点滅します。 詳しくは「インジケーター表示一覧」をご覧ください。(→ 145 ページ)
- 4 ライトインジケーター(LIGHT) 光源の状態をお知らせします。
- 3 温度インジケーター(TEMP.) プロジェクター周囲の温度が高くなっていることをお知らせします。
- 6 INPUT ボタン 押すごとに、HDMI1 → HDMI2 → DisplayPort1 → DisplayPort2 → HDBaseT → SDI の順で入力端子が切り替わります。
- AUTO ADJUST ボタン 投写している映像を最適な状態に自動調整します。
- 8 ASPECT ボタン 押すごとにアスペクトを切り替えます。

9 LENS CALIBRATION ボタン

レンズユニットおよびレンズシフトの調整範囲を校正し、レンズシフトがホームポジ ションに戻ります。

10 PIC MUTE ボタン

映像を一時的に消します。もう一度押すと戻ります。

11 MENU ボタン

各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。

12 ▼▲◀▶ボタン

- ・オンスクリーンメニューを表示しているときに▼▲◀▶ボタンを押すと、設定・調整したい項目を選択できます。
- ・テストパターン表示中は、パターンを変更します。

13 ENTER ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。 確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

14 EXIT ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、メニューを閉じます。 確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。

15 LENS SHIFT ボタン

投写画面の位置を調整します。

- 16 FOCUS ボタン 投写画面のピントを合わせます。
- 17 ZOOM ボタン

投写画面の大きさを微調整します。


- HDMI 1 入力端子(タイプ A) コンピューターやブルーレイプレーヤーなどの出力端子と接続します。
- 2 HDMI 2 入力端子 (タイプ A) コンピューターやブルーレイプレーヤーなどの出力端子と接続します。
- SDI 入力端子(BNC)
 映像機器の SDI 出力端子と接続します。
- SDI 出力端子(BNC)
 SDI 入力端子に入力された映像信号を出力します。
- HDBaseT ポート(RJ-45)
 本機を市販の HDBaseT 対応の伝送機器に接続します。
- 6 LAN ポート (RJ-45) 本機を有線 LAN に接続します。接続すると本機の HTTP サーバー機能を利用し、コンピューターでウェブブラウザーを使用して本機を制御することができます。
- 7 DisplayPort 1 入力端子 (DisplayPort 20 ピン) コンピューターなどの DisplayPort 出力端子と接続します。
- 8 DisplayPort 2 入力端子 (DisplayPort 20 ピン) コンピューターなどの DisplayPort 出力端子と接続します。
- USB-A ポート (タイプ A) 本機の電源が入っているときに 5.0V/2.0A の電源を供給します。

10 ワイヤードリモート入力端子(ステレオ・ミニ)

本機を有線でリモコン操作する場合に使います。

[注意]

- リモート端子にリモコンケーブルが接続されているときは、赤外線でのリモコン 操作はできません。
- 11 ワイヤードリモート出力端子(ステレオ・ミニ) ワイヤードリモート入力端子に入力されたリモコン信号を出力します。
- 12 スクリーントリガー端子(ステレオ・ミニ) 本機の電源を入れると、スクリーンの制御電圧が出力されます。 本機の電源の入/切に応じて、スクリーンの上げ下げなどの制御をする場合に、スク リーンコントローラーなどの機器に接続します。
- 13 PC コントロール入力端子(D-Sub 9 ピン)

コンピューターから制御コマンドを送信して本機を操作する場合に使います。 市販のリバースタイプ (クロスタイプ)の RS-232C ケーブルを接続してください。

14 PC コントロール出力端子(D-Sub 9 ピン) PC コントロール入力端子に入力された制御信号を出力します。

1-4. リモコン各部の名称



1 リモコン送信部

赤外線によるリモコン信号が送信されます。本 体のリモコン受光部に向けて操作してくださ い。

2 リモコンケーブル接続端子

リモコンを有線で使用するときに、市販のΦ 3.5 ステレオミニプラグ付きケーブル(抵抗な し)を接続します。

3 **POWER ON ボタン()** スタンバイ状能のときに 木櫟の雪

スタンバイ状態のときに、本機の電源を入れま す。

4 POWER STANDBY ボタン(也)

ー度押すと電源オフ確認メッセージを表示し ます。もう一度 POWER STANDBY(または ENTER)ボタンを押すと、本機の電源が切れ ます。

- 5 USER1/2/3 ボタン
 USER1: 投写している映像を最適な状態に自動 調整します。
 USEP2/2: (本準では使用しません)
 - USER2/3: (本機では使用しません)
- 6 MENU ボタン

各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。

7 EXIT ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、メニューを 閉じます。確認メッセージ表示中は、操作を取 り消します。

8 ▼▲◀▶ボタン

オンスクリーンメニュー操作や D-ZOOM ボタ ン、SHIFT ボタンと組み合わせて使用します。 ・テストパターン表示中は、パターンを変更し ます。

9 ENTER ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層の メニューに進みます。 確認メッヤージ表示中は、項目を決定します。



10 FOCUS ボタン

レンズ制御(ズーム/フォーカス)を表示しま す。◀ / ▶ボタンでレンズのフォーカスを調整 します。

11 SHIFT ボタン

レンズ制御(シフト)を表示します。▼▲**▲** ボタンでレンズ位置を調整します。

12 ZOOM ボタン

レンズ制御(ズーム/フォーカス)を表示しま す。▼/▲ボタンでレンズのズームを調整しま す。

13 VOL/D-ZOOM + / ーボタン

CTLボタンと同時に押すと、画面の拡大・縮小(もとに戻す)をします。

14 DEFAULT ボタン (本機では使用しません)

15 SHUTTER /OSD OPEN (□) /CLOSE (□) ボタン

CLOSE ボタンを押すと、光源が消灯して投写 光が一時的に消えます。OPEN ボタンを押す と戻ります。

CTL ボタンと同時に CLOSE ボタンを押すと、 オンスクリーン表示を消します(オンスクリー ンミュート)。CTL ボタンと同時に OPEN ボ タンを押すと戻ります。

16 LIGHT ボタン

押すごとに基準ライトモードを切り替えます。

17 Geometric. ボタン

オンスクリーンメニューの「表示」を表示しま す。

18 STATUS ボタン

オンスクリーンメニューの「情報」を表示しま す。

19 TEST ボタン

テストパターンを表示します。





- **20 HDMI1 ボタン** HDMI1 入力を選択します。
- **21 HDMI2 ボタン** HDMI2 入力を選択します。
- 22 HDBaseT ボタン HDBaseT 入力を選択します。
- 23 DP1 ボタン DisplayPort1 入力を選択します。
- 24 DP2 ボタン DisplayPort2 入力を選択します。
- **25 SDI ボタン** SDI 入力を選択します。
- **26 SLOT ボタン** (本機では使用しません)
- **27 COMP. ボタン** (本機では使用しません)
- **28 DVI ボタン** (本機では使用しません)
- **29 AUX ボタン** (本機では使用しません。)
- 30 ID SET ボタン 複数台のプロジェクターを本機のリモコンで個 別に操作するときのコントロール ID 設定に使 用します。
- 31 CTL ボタン

他のボタンと併用するための複合機能ボタンで す。

32 数字(0~9)入力ボタン

複数台のプロジェクターを本機のリモコンで個別に操作する場合の ID 入力に使用します(コントロール ID 設定)。

ID SET ボタンを押したまま0ボタンを押すと、 コントロール ID 設定を解除します。

[注意]

● リモコンの使用上の注意は 24 ページをご覧ください。

●乾電池の入れかた

- 1. リモコン裏面の電池ケースのふたをあける。
- ケース内部に表示している+、-の向き に合わせて単4形アルカリ乾電池をセッ トする。
- 3. もとどおりにふたをする。

ふたのツメ③をケースのミゾ⑤に入れてからふたをしめます。



[注意]

● 乾電池を交換するときは、2本とも同じ種類の単4形アルカリ乾電池をお買い求め ください。

●リモコンの有効範囲

リモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。おおよそ 次の範囲内でリモコンの信号が受信できます。



a: 約7m / b: プロジェクターのリモコン受光部 / c: リモコン (注) 有効範囲のイメージを表した図のため実際とは多少異なります。

●リモコンケーブルを使用する

本体のリモコン受光部とリモコンの間に遮へい物などがあるときや、受光範囲外でリモコン操作するときは、リモコンケーブルを使用して、本体とリモコンを接続してください。



a: リモコンケーブル接続端子

- ・リモコンケーブルは、市販のΦ 3.5 ステレオミニプラグ付き(抵抗なし)を使用してく ださい。
- ・REMOTE 端子にリモコンケーブルが接続されているときは、赤外線でのリモコン操作 はできません。
- ・REMOTE 端子からリモコンへ電源は供給されません。有線で使用する場合でも、リモ コンに乾電池を入れてください。

2. 映像を投写する(基本操作)

2-1. 映像を投写する流れ

ステップ 🕇	コンピューターと接続する/電源コードを接続する (→次ページ)
ステップ 2	本機の電源を入れる(→ 48 ページ)
ステップ 3	入力信号を選択する(→ 50 ページ)
ステップ4	投写画面の位置と大きさを調整する(→ 51 ページ)
ステップ5	プレゼンテーションする
ステップ6	本機の電源を切る (→ 58 ページ)
ステップ 7	あとかたづけ(→ 59 ページ)

2-2. コンピューターと接続する/電源コードを接続する

1. コンピューターと接続する

ここでは、コンピューターとの基本的な接続を説明します。 コンピューターの HDMI 出力端子と本機の HDMI1 入力端子(HDMI1 IN)または HDMI2 入力端子(HDMI2 IN)を HDMI ケーブルで接続します。

2. 電源コードを接続する

⚠注意	 本機は電源コードのアース端子をアースに接続することを前提に設計されている3芯プラグ機器です。機器の安全確保のため、電源コードは、3芯コンセントに直接接続し、機器のアースを確実に接続してご使用ください。アースを接続しないと感電するおそれがあります。2芯プラグへの変換アダプターは使用しないでください。 プロジェクターとコンピューター(信号源)は必ず同じアースに接続してください。 プロジェクターとコンピューター(信号源)を離れた場所のアースに接続すると、アース電位の変動により、発火・発煙の原因となることがあります。 アース工事は専門業者にご依頼ください。
	 電源コードをACIN端子および3芯コンセントに接続するときは、 コネクターやプラグを奥までしっかり差し込んでください。 電源コードの接続がゆるむと、火災・感電の原因となるおそれがあります。

添付の電源コードを使って、本機をコンセントに接続してください。

AC100V の場合

- ① AC100 V 用電源コードのコネクターを本機の AC IN 端子に差し込む。
- AC100 V用電源コードのプラグをAC100Vの3芯コンセント(アース工事済み)に 差し込む。

【XP-X171Q-Bのみ】AC200 Vの場合

- ① AC200 V 用電源コードのコネクターを本機の AC IN 端子に差し込む。
- ② AC200 V用電源コードのプラグをAC200 V(単相)の3芯コンセント(アース工事済み) に差し込む。

[重要]

● 三相 200V の電源には接続しないでください。故障の原因となります。

電源コードを接続すると、本機の電源インジケーターが点灯します。



- b:【XP-X171Q-Bのみ】AC200 V 用電源コード(添付)/c:HDMI ケーブル(市販)
- プレミアムハイスピード対応の HDMI ケーブルを使用してください。



2-3. 本機の電源を入れる



プロジェクターは強い光を投写します。 電源を入れる際は、プロジェクター本体の側面または背面(侵入禁 止領域の外)で操作してください。また、投写範囲内にレンズを見 ている人がいないことを確認してください。

1. レンズキャップを取り外す。



2. POWER ON ボタンを押す。 電源インジケーターが赤色の点灯から緑色に

電源インシケーターが赤色の点対から緑色に 変わり点滅し始めます。その後、スクリーン に映像が投写されます。

- ・本体で操作する場合は、⑥ボタンを押します。
- ・信号が入力されていないときは、青い画面 (ブルーバック)が表示されます(工場出荷 時のメニュー設定時)。
- ・映像がぼやけている場合は、画面のフォー カスを合わせてください。(→54ページ)



・別売のレンズユニットを本機に取り付けた とき、またはレンズユニットを交換したと きは、本体の LENS CALIBRATION ボタ ンを押して、「キャリブレーション」を実 行してください。

キャリブレーションにより、レンズの調整 範囲を校正します。

また、レンズシフトの動作に異常が発生したときも、「キャリブレーション」を実行してください。



- ご購入後はじめて電源を入れたときは LANGUAGE 画面が表示されます。次のように操作して「日本語」を選択してください。
- ・誤って「日本語」以外を選択した場合は、 オンスクリーンメニューを表示して「言語」
 を変更することができます。
- ▼ / ▲ボタンを押して、カーソルを「日本語」に合わせる。
- ② ENTER ボタンを押す。 オンスクリーンメニューの表示が日本語に 設定され、オンスクリーンメニューが消え ます。

[注意]

- ●本機の電源が入っている間は、レンズからレンズキャップを外しておいてください。
 高温になりレンズキャップが変形します。
- 内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待って(内部の温度が下がって)から電源を入れてください。
- 電源インジケーターが緑色で短い点滅をしているときは STANDBY ボタンを押しても 電源は切れません。
- ●本機の動作温度内であっても、スリープ状態が長く続いた場合などに内部が高温になることがあります。このときに電源を入れると、まず冷却ファンのみが動作して、しばらくたってから映像が投写されます。





2-4. 入力信号を選択する

本体の INPUT ボタンを押して選択する

- 本機に接続しているコンピューターやブ ルーレイプレーヤーなどの電源を入れ る。 ブルーレイプレーヤーなどの映像を投写する ときは、再生(PLAY)操作をしてください。
- 2. INPUT ボタンを押す。 押すごとに、HDMI1→HDMI2→DisplayPort 1→DisplayPort2→HDBaseT→SDIの順で 入力端子が切り替わります。



リモコンのダイレクトボタンを押して選択する

- 本機に接続しているコンピューターやブ ルーレイプレーヤーなどの電源を入れ る。 ブルーレイプレーヤーなどの映像を投写する ときは、再生(PLAY)操作をしてください。
- リモコンの HDMI1 または HDMI2 ボタ ンを押す。



2-5. 投写画面の位置と大きさを調整する

レンズシフトやチルトフット、ズーム、フォーカスなどを操作して、投写画面の位置や大きさを調整します。

最適な投写状態になるまで、これらの調整を繰り返してください。



※ここでは、本機に接続しているケーブル類を省略したイラストにしています。

[注意]

 テストパターンを表示中は、リモコンの SHIFT ボタン、FOCUS ボタン、ZOOM ボ タンが動作しません。リモコンを使用する場合は、MENU ボタンを押して、オンス クリーンメニューの表示→レンズ→レンズ制御を表示して調整してください。

投写画面の位置の調整(レンズシフト)

●本体で調整する

1. LENS SHIFT ▼▲◀▶ボタンを押す。

矢印の方向に投写画面が移動します。



SHIFT ボタンを押す。

レンズ制御(シフト)画面が表示されます。

L.	ンズ制御	
	シフト	
「ENTER」キーでズー	-ム/フォーカ	ス調整へ



マ▲◀▶ボタンを押す。
 矢印の方向に投写画面が移動します。



レンズシフトをホームポジションに戻す場合

LENS CALIBRATION ボタンを押すと本機のレンズ位置がホームポジション(ほぼ中心 位置)に戻ります。

[注意]

● レンズシフトを斜め方向へ最大にすると、画面周辺が暗くなったり、影が出たりします。

[参考]

● 下図はレンズユニット XP-61ZL のレンズシフト調整範囲(投写方式:デスク/フ ロント)を示しています。



記号の意味:Vは垂直(投写画面の高さ)、Hは水平(投写画面の幅)を表し、レンズ シフト範囲を高さおよび幅の比率で表しています。

投写画面のフォーカス合わせ

フォーカスは、テストパターンを投写した状態で30分以上経過したのちに調整すること をおすすめします。

① 光軸付近のフォーカスを合わせる<電動フォーカス> ●本体で操作する

1. FOCUS + / - ボタンを押して光軸@付近 のフォーカスを合わせる。

※図はレンズシフトを上方向へ移動していると きの例です。画面下側のフォーカスが合うよ うに調整します。



●リモコンで調整する

- 1. FOCUS または ZOOM ボタンを押す。 レンズ制御(ズーム/フォーカス)画面が表 示されます。
- 2. ◀/▶ボタンを押して光軸@付近のフォー カスを合わせる。





② 画面周辺のフォーカスを合わせる。<手動フォーカス>

1. 周辺フォーカスリングを左右に回します。



③ 画面全体のフォーカスが合うまで、手順①と② を繰り返す。

投写画面の大きさの調整(ズーム) ●本体で調整する

 ZOOM + / -ボタンを押してズーム(画 面の大きさ)を調整する。



●リモコンで調整する

 ZOOM または FOCUS ボタンを押す。 レンズ制御(ズーム/フォーカス)が表示 されます。

▲/▼ボタンを押して、ズームを調整します。





投写画面の高低と左右の傾き調整(チルトフット)

1. 4箇所のチルトフット@を回して調整する。

チルトフットを回すとチルトフットが伸縮し ます。

【投写画面の高低調整】

前方(2箇所)または後方(2箇所)のチル トフットを回して高さ調整をします。

【投写画面の傾き調整】

左右に傾いているときは、左側(2 箇所)ま たは右側(2 箇所)どちらかのチルトフット を回して水平に調整します。

- ・チルトフットは、最大 10mm 伸ばすこと ができます。
- ・チルトフットにより、本機を最大 1° 傾ける ことができます。





a:チルトフット/b:伸びる/c:縮む

[注意]

- チルトフットは 10 mm 以上伸ばさないでください。10 mm を超えるとチルトフットの取り付け部分が不安定になり、チルトフットが本体から外れます。
- チルトフットを調整する場合、前後2箇所のアジャスターを同時に伸ばし、荷重が均等にかかるようにしてください。いずれか1箇所のみを調整すると、荷重が均等にかからず、アジャスターが故障する原因となります。
- チルトフットは、本機の投写角度調整以外の用途には使用しないでください。
 チルトフット部分を持って運んだり、壁に掛けて使用するなどの誤った取り扱いをすると、故障の原因となります。

2-6. 本機の電源を切る

- POWER STANDBY ボタンを押す。 画面に電源オフ確認メッセージが表示されま す。
 - ・本体で操作する場合は、
 ・ボタンを押します。



プロジェクターを待機状態にしますか? もう一度押す

もう一度 POWER STANDBY ボタンを 押す。

光源が消灯し、電源が切れます。

- ・本体で操作する場合は、もう一度③ボタンを押します。
- ・電源を切らない場合は、EXIT ボタンを押 します。



[注意]

- 電源インジケーターが緑色で短い点滅をしているときは電源を切る操作をしても電源 は切れません。
- 投写中は、本機やコンセントから電源コードを抜かないでください。本機の AC IN 端 子や電源プラグの接触部分が劣化するおそれがあります。投写中に AC 電源を切断す る場合は、ブレーカーなどを利用してください。
- 各種の調整をして調整画面を閉じたあと約 10 秒間は、AC 電源を切断しないでください。この間に AC 電源を切断すると、調整値が初期化されることがあります。

2-7. あとかたづけ

- 1. 電源コードを取り外す。
- 2. 各種信号ケーブルを取り外す。
- 3. レンズにレンズキャップを取り付ける。
- 4. 移動させるとき、チルトフットを伸ばしていたら、もとに戻す。

3. 便利な機能

3-1. 投写光を消灯する(レンズシャッター)

リモコンの SHUTTER CLOSE (区) ボタン を押す。

光源が消灯して、投写光が一時的に消えます。 SHUTTER OPEN (□) ボタンを押すと投写されま す。



3-2. オンスクリーン表示を消去する ______(オンスクリーンミュート)

リモコンの CTL ボタンを押したまま OSD CLOSE (区) ボタンを押す。

オンスクリーンメニューや入力端子などの表示が出 なくなります。

・リモコンの CTL ボタンを押したまま OSD OPEN
 (□) ボタンを押すと、オンスクリーン表示が出るようになります。



[参考]

- オンスクリーンミュートが有効になっているかは、MENUボタンを押したときにオン スクリーンメニューが出ないことで確認できます。
- 電源を切っても、オンスクリーンミュートの状態は保持されます。

3-3. 映像の一部を拡大する (部分拡大)

リモコンの CTL ボタンを押したまま VOL/D-ZOOM + ボタンを押す。

押すごとに映像が拡大します。 ・最大4倍まで拡大できます。





2. リモコンの CTL ボタンを押したまま VOL/D-ZOOM -ボタンを押す。 押すごとに映像が縮小します。

・もとのサイズに戻ると、それ以上押しても縮小されません。

····· [参考]

- 拡大および縮小は、画面中央を中心にして拡大および縮小します。
- オンスクリーンメニューの表示→ズーム→水平位置または垂直位置で、拡大した映像の表示領域を移動できます。

3-4. 輝度(明るさ)を調整する

本機は、使用目的などに合わせて、3 つの基準ライトモードを選択できます。 また、輝度を調整して、調整後の明るさを一定に保つように制御することができます。

基準ライトモードの設定	説明
ノーマル	標準的なモードです。
	基準ライト調整で、出力を30~100%*1の範囲で調整でき
	ます。
LI	輝度(明るさ)が約 90% *2 になります。
	冷却ファンの回転数も対応して下がります。
	消費電力が下がります。
フル	輝度(明るさ)が約 100% * 2 になります。
	明るい画面になります。

XP-X171Q-BをAC 100 V で使用する場合は明るさが変わります。

- **※**1∶30 ~ 85%
- ※2:約85%

基準ライトモードを切り替える

1. リモコンの LIGHT ボタンを押す。 押すごとに、基準ライトモードが切り替わります。



ライト調整をする

基準ライトモードを「ノーマル」に設定しているときに調整できます。

- 1. MENU ボタンを押す。 オンスクリーンメニューが表示されます。
- ▼▲◀▶ボタンを押して、設定(1)→基準ライトモード→ 基準ライト調整を選択する。
- 3. ◀ / ▶ボタンを押して調整する。



[参考]

● 輝度一定モードを「オン」に設定すると、ライト調整後の輝度(明るさ)を維持できます。

.

●使用環境の温度が高いと、本機の保護機能により一時的に輝度(明るさ)が下がることがあります。保護機能が働くと、LIGHTインジケーターがオレンジ色に点灯します。
 室温を下げることにより本機内部の温度が下がると、もとの明るさに戻ります。

3-5. 台形の歪みを調整する

幾何学補正の台形補正画面を表示して、投写画面の台形歪みを調整します。

- リモコンの Geometric. ボタンを押す。 オンスクリーンメニューの「表示」を表示します。
- ▼ / ▲ボタンを押して「幾何学補正」にカー ソルを合わせ、ENTER または ▶ボタンを押 す。
 幾何学補正画面が表示されます。
- 「モード」にカーソルが合った状態で◀ / ▶ ボタンを押して「台形補正」を選択する。
- ▼ボタンを押して「台形補正」に合わせ、 ENTER ボタンを押す。
 台形補正画面に切り替わります。
- 「水平調整」または「垂直調整」にカーソル を合わせ、
 ★ ボタンを押して投写画面 を調整する。



[注意]

- 台形補正は電気的な補正をしているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があ ります。
- 水平の台形補正は、垂直レンズシフトの位置が0V付近の場合に使用してください。 上記以外の場合は、「4 点補正」を使用して台形歪みを補正してください。

[参考]

● 幾何学補正の機能について、詳しくは 92 ページをご覧ください。

3-6. HTTP を使用したウェブブラウザーによる操作

概要

ウェブブラウザーで本機のHTTP サーバー画面を表示して、コンピューターやスマート フォンで本機を操作することができます。

● HTTP サーバー画面でできること

- 本機の操作
 本機の電源のオン/オフ、入力端子の切り替え、レンズ制御などができます。
- 映像や投写画面の調整
 明るさなどの映像調整、幾何学補正、エッジブレンディングなどができます。
- ネットワーク設定(スマートフォンは非対応)
 本機をネットワーク(有線 LAN)に接続して使用する際の設定をします。
 また、各種コントロールシステムとの接続の設定をします。

設定や調整の内容については、オンスクリーンメニューの説明をご覧ください。

[重要]

 ご購入後はじめて HTTP サーバーに接続するときは、パスワードを設定して ください。詳しくは、「HTTP サーバー画面のログインパスワードを設定する」
 (→ 150 ページ)をご覧ください。

● HTTP サーバー画面を表示するには

コンピューターの場合

- 1. 本機とコンピューターを市販の LAN ケーブルで接続する。(→118ページ)
- オンスクリーンメニューの「設定(1)」→「ネットワーク設定」→「有線 LAN」 を選択し、ネットワークの設定をする。(→ 103 ページ)
- 3. コンピューターのウェブブラウザーを起動し、アドレスまたは URL の入力欄へ 「http://〈本機の IP アドレス〉/index.html」と指定する。 HTTP サーバーのログイン画面が表示されます。
- 4.「Password」欄にパスワードを入力して「Login」ボタンをクリックする。 HTTP サーバー画面が表示されます。

スマートフォンの場合

- 1. 本機と無線 LAN 対応ルーターを市販の LAN ケーブルで接続する。
- オンスクリーンメニューの「設定(1)」→「ネットワーク設定」→「有線 LAN」を 選択し、ネットワークの設定をする。(→ 103 ページ)
- 3. スマートフォンのネットワーク設定をして、本機と接続できるようにする。
- ウェブブラウザーを起動し、アドレスまたは URL の入力欄へ「http://〈本機の IP アドレス〉/index.html」と指定する。
 HTTP サーバーのログイン画面が表示されます。

次ページへ続く

5.「Password」欄にパスワードを入力して「Login」ボタンをクリックする。 HTTP サーバー画面が表示されます。

[注意]

- ●本機をネットワーク環境で使用する場合は、必ずネットワーク管理者の指示に従って 設定してください。
- パスワードを入力する時に、周囲の人にパスワードを盗み見られて悪用されないよう に、パスワードの入力に細心の注意を払ってください。 もし盗み見られたと思った場合は、速やかにパスワードを変更してください。
- ●ご使用のネットワーク環境によっては、表示速度やボタンの反応が遅くなったり、操作を受け付けなかったりすることがあります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。 また続けてボタン操作をするとプロジェクターが応答しなくなることがあります。その場合はしばらく待ってから再度操作してください。しばらく待っても応答がない場合は、本機の電源を入れなおしてください。
- ウェブブラウザーでネットワーク設定画面が表示されない場合は、Ctrl + F5 キーを 押してウェブブラウザーの画面表示を更新してください。
- ●本機は「JavaScript」および「Cookie」を利用していますので、これらの機能が利 用可能なようにブラウザーを設定してください。設定方法はバージョンにより異なり ますので、それぞれのソフトにあるヘルプなどの説明を参照してください。

使用前の準備

ウェブブラウザーによる操作の前にあらかじめ本機に市販の LAN ケーブルを接続してく ださい。(→118ページ)

プロキシサーバーの種類や設定方法によっては、プロキシサーバーを経由したウェブブラ ウザー操作ができないことがあります。プロキシサーバーの種類にもよりますがキャッ シュの効果により実際に設定されているものが表示されない、ウェブブラウザーから設定 した内容が反映しないなどの現象が発生することがあります。プロキシサーバーはできる だけ使用しないことを推奨します。

ウェブブラウザーによる操作のアドレスの扱い

ウェブブラウザーによる操作に際しアドレスまたは URL 欄に入力する実際のアドレスに ついてネットワーク管理者によってドメインネームサーバーへ本機の IP アドレスに対す るホスト名が登録されている場合、または使用しているコンピューターの「HOSTS」ファ イルに本機の IP アドレスに対するホスト名が設定されている場合には、ホスト名がその まま利用できます。

- (例 1) 本機のホスト名が「pj.sharp.co.jp」と設定されている場合 ネットワーク設定へのアクセスはアドレスまたは URL の入力欄へ http://pj.sharp.co.jp/index.html と指定します。
- (例 2)本機の IP アドレスが「192.168.73.1」の場合 ネットワーク設定へのアクセスはアドレスまたは URL の入力欄へ http://192.168.73.1/index.html と指定します。

3-7. レンズシフト調整値を保存する (レンズメモリー)

スクリーンへの投写位置、大きさ(レンズシフト、ズーム、フォーカスの各調整値)を本 機のメモリーに保存します。最大 10 個を保存できます。 保存したレンズメモリーを呼び出すと自動的に調整します。

レンズメモリーに保存する

- 1. 本機のレンズシフト機能を使って、投写位置を調整する。
- 2. MENU ボタンを押す。 オンスクリーンメニューが表示されます。
- 3. ◀ / ▶ボタンを押して「表示」にカーソルを合わせる。
- マ / ▲ボタンを押して「レンズ」にカーソルを合わせ、ENTER または▶ボ タンを押す。
- 5. ▼ / ▲ボタンを押して「レンズメモリー」にカーソルを合わせ、ENTER ま たは ▶ ボタンを押す。 レンズメモリー画面が表示されます。
- 6. ▼/▲ボタンを押して、MEMORY1 ~ MEMORY10 の中で右側に「登録」 と表示されている項目のどれかにカーソルを合わせ、ENTER または▶ボタ ンを押す。 レンズメモリー登録画面が表示されます。

必要に応じて、登録名を入力します。

7. ▼ / ▲ボタンを押して「Accept」にカーソルを合わせ、ENTER ボタンを 押す。

レンズシフト、ズーム、フォーカスの各調整値がメモリーに保存されます。

レンズメモリーを呼び出す

- 1. MENU ボタンを押す。 オンスクリーンメニューが表示されます。
- 2. ◀ / ▶ボタンを押して「表示」にカーソルを合わせる。

- ▼ / ▲ボタンを押して「レンズ」にカーソルを合わせ、ENTER または ▶ボ タンを押す。
- ▼ / ▲ボタンを押して「レンズメモリー」にカーソルを合わせ、ENTER または ▶ボタンを押す。
 レンズメモリー画面が表示されます。
- 5. ▼/▲ボタンを押して、MEMORY1 ~ MEMORY10 の中で右側に「移動」 と表示されている項目のどれかにカーソルを合わせ、ENTER ボタンを押す。 登録されている調整値が適用されます。

レンズメモリーに保存した調整値を消去する

- 1. MENU ボタンを押す。 オンスクリーンメニューが表示されます。
- 2. ◀ / ▶ボタンを押して「表示」にカーソルを合わせる。
- 3. ▼ / ▲ボタンを押して「レンズ」にカーソルを合わせ、ENTER または ▶ボ タンを押す。
- マ/▲ボタンを押して「レンズメモリー」にカーソルを合わせ、ENTER または▶ボタンを押す。

レンズメモリー画面が表示されます。

5. ▼ / ▲ボタンを押して、MEMORY1 ~ MEMORY10 の中で右側に「移動」 と表示されている項目のどれかにカーソルを合わせ、▶ボタンを押す。 表示が「移動」から「リセット」に変わります。

• ▶ボタンを押すごとに「リセット」と「移動」が切り替わります。

ENTER ボタンを押す。
 メモリー内の調整値が消去されます。

3-8. 投写画面の境界を調整する (エッジブレンディング)

本機は、投写画面の端(境界)を目立たなくさせる「エッジブレンディング機能」を搭載 しています。

ここでは、プロジェクター4台を縦横に2台ずつ並べた場合で説明します。

準備:

- プロジェクターを設置して映像出力機器と接続します。
- すべての機器の電源を入れて、映像を投写します。



a:投写画面 / b:エッジブレンディング領域

[重要]

- エッジブレンディングを調整する前に、台形歪みや画面サイズが適切になるような 位置に本機を設置して、レンズシフト、フォーカス、ズームの調整をしてください。
- ●各プロジェクターの明るさを基準ライトモードの「基準ライト調整」で合わせてください。また、各プロジェクターの色味を「色補正」で合わせてください。

1. エッジブレンディングを有効にする。

- MENU ボタンを押す。 オンスクリーンメニューが表示されます。
- ② ◀ / ▶ボタンを押して「表示」にカーソルを合わせる。
- ③ ▼ / ▲ボタンを押して「エッジブレンディング」にカーソルを合わせ、ENTER または▶ボタンを押す。
 - エッジブレンディング画面が表示されます。
- ④「モード」にカーソルが合った状態で ENTER または▶ボタンを押す。 モード画面が表示されます。

次ページへ続く

- ⑤ ▼ / ▲ボタンを押して「オン」にカーソルを合わせ、ENTER または ▶ボタンを押す。 エッジブレンディングが有効になり、「マーカー」「範囲」「ホワイトレベル」「黒 レベル」の項目が調整可能になります。
- 2. マーカーを表示する。
 - ① ▼ / ▲ボタンを押して「マーカー」にカーソルを合わせ、ENTER または ▶ボタン を押す。

マーカー画面が表示されます。

- ② ▼ / ▲ボタンを押して「オン」にカーソルを合わせ、ENTER または▶ボタンを押す。 エッジブレンディング領域の幅の調整位置にはシアン、エッジブレンディングの 開始位置には赤のマーカーが表示されます。
- 3. ホワイトレベルでエッジブレンディング領域の幅を調整する。
 - ① ▼ / ▲ボタンを押して「ホワイトレベル」にカーソルを合わせ、ENTER または♪ ボタンを押す。

ホワイトレベル画面が表示されます。

② ▼ / ▲ボタンを押して調整する場所を選択し、◀ / ▶ボタンを押してエッジブレン ディング領域の幅を調整する。



※図は説明のため2画面を離して掲載しています。

左下画面右側の場合は、「右端」のシアンのマーカーを右下画面の赤のマーカーに 重ねるように調整します。

- 4. マーカーを消す。
 - ① ▼ / ▲ボタンを押して「マーカー」にカーソルを合わせ、ENTER または ▶ボタン を押す。

マーカー画面が表示されます。

- ② ▼ / ▲ボタンを押して「オフ」にカーソルを合わせ、ENTER または ▶ボタンを押す。 マーカーが消えます。
- 5. 黒レベルで映像が重ならない部分の明るさを調整する。
 - ① ▼ / ▲ボタンを押して「黒レベル」にカーソルを合わせ、ENTER または ▶ボタン を押す。

黒レベル画面が表示されます。

② ▼ / ▲ボタンを押して調整する場所を選択し、◀ / ▶ボタンを押して黒レベル調整 領域の幅を調整する。



※図は説明のため2画面を離して掲載しています

a: 非アクティブ領域(映像が表示されない領域)/ b: 黒レベル調整領域 / c: エッジブレンディング領域

左下画面右側の場合は、「下端-右端-水平」を調整して、黒レベル調整領域の右端を右下画面の非アクティブ領域の左端に合わせます。
- ③ ▼ / ▲ボタンを押して 「適用」 にカーソルを合わせ、ENTER または ▶ボタンを押す。 黒レベル調整領域の変更が反映されます。
- ④ ▼ / ▲ボタンを押して「赤」、「緑」または「青」を選択し、 ◀ / ▶ボタンを押して 黒レベルを調整する。
 エッジブレンディング領域と黒レベルが均一になるように調整してください。
 「すべて」を選択すると、「赤」「緑」「青」を同時に調整できます。

6. 他のプロジェクターを同じ手順で調整する。

.

· [参考]

- 解像度の違う信号を投写したときは、再度、エッジブレンディングの調整が必要になります。
- マーカーの設定は、保存されません。電源を切ると、マーカーの設定はオフに戻ります。
- 黒レベルは、明るくする方向のみ調整できます。

4. オンスクリーンメニュー

4-1. オンスクリーンメニューの基本操作

本機で投写する映像の画質調整や、本機の動作モードの切り替えなどは、オンスクリーン メニューを表示して操作します。以降、「オンスクリーンメニュー」を「メニュー」と省 略して記載します。

オンスクリーンメニュー画面の構成

メニューを表示するにはプロジェクター本体またはリモコンの MENU ボタンを押します。 また、メニューを消す場合は EXIT ボタンを押します。 ここでは、メニューの見かたや操作方法について説明します。

準備:本機の電源を入れて、スクリーンに映像を投写してください。

- 1. MENU ボタンを押す。
 - ・EXIT ボタンを押すと、メニューが消えます。
 - ・ 画面上におけるメニューの表示位置を変更することができます。(メニュー位置 105ページ)



2. ◀ / ▶ボタンを押す。

メインメニュータブ(入力端子←→調整←→表示←→設定(1)←→設定(2)←→情報) にカーソルが移動します。

 メインメニュータブにカーソルがある状態で、▼ / ▲ボタンを押す。 サブメニューにカーソルが移動します。
 ・サブメニューからメインメニュータブに戻る場合は、MENU ボタンを押します。
 ・EXIT ボタンを押すと、メニューが消えます。

- 4. ▼ / ▲ボタンを押して目的のサブメニューにカーソルを合わせる。
 サブメニューに表示されているマークは、キー操作を表しています。
 - ・ < >…… < / ▶ボタンを押して、設定値を選択します。
 - · </>・</>
 · ····ENTER ボタン、または
 ・ボタンを押して、さらに選択操作を続けます。
- 5. 目的のサブメニューにカーソルを合わせ、 ◀ / ▶ボタン、または ENTER ボ タンを押す。
 - ・さらに1階層深いサブメニューが表示される場合があります。
 その場合は、▼/▲ボタンでサブメニューにカーソルを合わせ、ENTER ボタンを 押します。

調整バー

調整バーの数値を変更する場合は、◀/▶ボタンを押します。

◀ / ▶ボタンを押すと、メニュー画面が消え、画面の下方に調整バーが表示されます。



◀ / ▶ボタンを押して調整し、決定する場合は MENU ボタンを押します。

確認メッセージ

調整値をリセットする場合などに、確認メッセージが表示されます。



 ↓ 「ケンを押して、「確定」または「キャンセル」にカーソルを合わせ、ENTER ボタンを押します。

数字の変更

メニューのネットワーク設定において、工場出荷時の IP アドレスやサブネットマスクな どを変更する場合について説明します。

1. MENU ボタンを押して、「設定 (1)」→「ネットワーク設定」→「有線 LAN」 を選ぶ。

有線 LAN 画面が表示されます。

		有線LAN		
DHCP			オフ	4!∕ ⊁
IPアドレス	192.168. 0.1	00		
サブネットマスク	255.255.255	0		
ゲートウェイ	192.168. 0.			
DNS 設定	192,168. 0.			
MAC アドレス	048234069	C24		
再接続				€!∕ ►

- 2. ▼/▲ボタンを押して「IP アドレス」にカーソルを合わせ、ENTER ボタン を押す。
- 3. ◀ / ▶ボタンを押して変更する数値にカーソルを合わせる。
- 4. ▼ / ▲ボタンを押して数値を変更し、ENTER ボタンを押す。
 ・▲ボタンを押すと、数値が増加します。▼ボタンを押すと数値が減少します。

4-2. オンスクリーンメニュー一覧

le	ま、谷唄目	の上場出向	時の値を表してい	ます。	
メインメニュー		メニュー サブメニ		選択項目	参照 ページ
入力端子	入力切替 自動調整 HDMI イコ	ライザー		HDMI1、HDMI2、DisplayPort1、 DisplayPort2、HDBaseT、SDI AUTO、1、2、3、4、5、6、7	82
	カラースペ ノイズリダ オートソー テストパタ	ペース ゲクション ペス ゲーン		自動、YPbPr、YCbCr、RGB PC、 RGB ビデオ オフ、オン オフ、オン 白、黒、赤、緑、青、 CHECKER BOARD、クロスハッチ、 カラーバー、アスペクト(プラグ)	83
調整	フリセット 明るさ コントラス 色補正	R G	色相/彩度/ゲイン 色相/彩度/ゲイン	スタンタード、ビデオ、sRGB 0~100~200 0~100~200	84
		B C M Y	 色相/彩度/ゲイン 色相/彩度/ゲイン 色相/彩度/ゲイン 色相/彩度/ゲイン 色相/彩度/ゲイン 	0~1000	85
		リセット	「「「」」「」」「「」」「「」」「」」 青明度		86
	詳細設定	彩度 色相 シャープネス ガンマ 色域		0~100~200 0~100~200 1~10~20 1.0, 1.8, 2.0, 2.2, 2.35, 2.5, DICOM SIM.	86
		<u>色温度</u> 入力バランス	 赤明度 緑明度 青明度 赤オフセット 緑オフセット 青オフセット リセット 	3200K、5400K、6500K、7500K、 9300K、リアル 0~100~200	87

×				28:17百日	参照
メインメニュー		サブメニ	<u>-</u> -	医抗填日	ページ
調整	色むら補正	_	モード	オフ、オン	
			位置 X	0~8	
			位置Y	0~5	
			赤明度	$-150 \sim 0 \sim 150$	87
			緑明度	$-150 \sim 0 \sim 150$	
			青明度	$-150 \sim 0 \sim 150$	
			リセット		
	HDR モー	ř		オフ、 <u>自動</u> 、PQ-400、PQ-500、	
				PQ-1000、HLG	88
	スムーズピ	クチャー		オフ、オン	
表示	アスペクト			5:4、4:3、16:10、16:9、1.88、2.35、	
				レターボックス、ノーマル、リアル	89
	投写方法			<u>デスク/フロント</u> 、天吊り/リア、デ	00
				スク/リア、天吊り/フロント	
	ズーム		デジタルズーム		
			水平位置		
			垂直位置		
			リセット		01
	オーバース	キャン	i	オフ、ワイドズーム、ズーム	
	ブランキン	グ	上端/下端	0~360	
			左端/右端	0~534	
			リセット		
	幾何学補正	モード		オフ、台形補正、4点補正、ピンクッ	
				ション/樽型歪み、PC ツール	
		台形補正	水平調整	$-360 \sim 0 \sim 360$	
			垂直調整	$-360 \sim 0 \sim 360$	92
				$-250 \sim 0 \sim 250$	
			スローレシオ		
			リセット		
		4 点補正		_	
		上端 - 左站	<u> </u>	$-192 \sim 0 \sim 192$	
		上端 - 左站	耑 - 垂直	$-120 \sim 0 \sim 120$	93
		上端 - 右站	耑 - 水平	$-192 \sim 0 \sim 192$	
		上端 - 右站	耑 - 垂直	$-120 \sim 0 \sim 120$	
		下端 - 左站	耑 - 水平	$-192 \sim 0 \sim 192$	
		下端 - 左站	- 垂直	$-120 \sim 0 \sim 120$	
			<u> </u>	$-192 \sim 0 \sim 192$	
		下端 - 右站	耑 - 垂直	$-120 \sim 0 \sim 120$	94
		水平リニス	アリティ	$-350 \sim 0 \sim 350$	
		_ 垂直リニス	アリティ	$-200 \sim 0 \sim 200$	
		リセット			

	メニュー			~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	参照
メインメニュー		<u>サブメニ</u> :	1— 		ページ
表示	幾何学補正	ピンクッション	/	$-250 \sim 0 \sim 300$	
		樽型歪み	下端	$-250 \sim 0 \sim 300$	
			左端	$-250 \sim 0 \sim 300$	
			右端	$-250 \sim 0 \sim 300$	95
			台形補正水平調整	$-60 \sim 0 \sim 60$	00
			台形補正垂直調整	$-40 \sim 0 \sim 40$	
			スローレシオ		
			リセット		
		PCツール		オフ、1、2	96
	エッジブレン	モード		オフ、オン	
	ディング	マーカー		オフ、オン	
		範囲	上端/下端	0~360	
			左端/右端	$0 \sim 534$	
		ホワイトレベル	上端/下端	0 、100 ∼ 1000	
			左端/右端	0 、100~1600	
		黒レベル	上端 - 左端 - 水平	$0 \sim 1920$]
			上端 - 左端 - 垂直	0~1080]
			上端 - 右端 - 水平	0~1920	06
			上端 - 右端 - 垂直	0~1080	90
			下端 - 左端 - 水平	0~1920]
			下端 - 左端 - 垂直	0~1080	1
			下端 - 右端 - 水平	0~1920]
			下端 - 右端 - 垂直	0~1080	1
			適用		1
			すべて		1
			赤/緑/青	0~255	1
		リセット			1
	スクリーン	スクリーンタイ	イプ	16:10、16:9、4:3、2.35:1	
		位置		- 120~0~120 (16:9 選択時)、]
				- 320~0~320(4:3 選択時)、	
				- 263 ~ 🛛 ~ 263(2.35:1 選択時)	
	レンズ	レンズロック		オフ、オン	
		レンズタイプ		0.31-0.33:1、0.55-0.75:1、	97
				0.74-1.08:1、1.05-1.41:1、	
				1.40-2.11:1、2.10-4.00:1	
		レンズ制御	ズーム		
			フォーカス		
			シフト		
		レンズメモ	MEMORY1 \sim	登録、移動、リセット	
		リー	MEMORY10		98
		レンズキャリ	ブレーション		
設定(1)	基準ライト	基準ライト	・モード	エコ、フル、ノーマル	
	モード	基準ライト	調整	30~100*	
		輝度一定モ	<u>ード</u>	オフ、オン	99
		ダイナミッ	クコントラスト	オフ、オン	
		ライトオフ	タイマー	オフ、0.5 秒、1.0 秒、1.5 秒、2.0 秒、	
				3.0 秒、4.0 秒	

※: XP-X171Q-BをAC100Vで使用する場合は30~85です。

× />/>	メニュー			選択項目	参照
<u> ^{×1}ノ×=1-</u> 設定 (1)			<u></u>	白動 強	100
DIALE (1)			<u></u> 多米邨設定		100
				$0 \sim 00$	101
				0 33	
		19691			
	トリガー			オフ スクリーン 5:4 4:3 16:10	-
	1 273			16:9. 1.88. 2.35. レターボックス.	
				ノーマル、リアル、BS232	102
	スタンバイター	17-		オフ、オン	1
	オフタイマー			30分、60分、90分	1
	ネットワーク	有線 LAN	DHCP		
	設定		IPアドレス		1
			サブネットマスク		1
			ゲートウェイ		103
			DNS 設定		1
			MAC アドレス]
			再接続		
		AMX BEA	ACON	オフ、オン	104
設定(2)	電源設定	スタンバ-	イモード	省電力、LAN、HDBaseT	
		オートパワ	フーオフ	オフ、5分、10分、15分、20分	105
		ダイレク	トパワーオン	オフ、オン	
	バックグラウン	ンド		ブルーバック、ブラックバック、ロゴ	_
	メニュー設定	起動時口:		ブラックバック、ブルーバック	
		メニューイ	立置	上端 - 左端、上端 - 右端、下端 - 左端、	
				下端 - 右端、中央	-
			透過率	0, 25, 50, 75	
		表示時間		手動、目動 10 秒、 <u>目動 30 秒</u> 、目動	
		Nut 3	·/==		106
		X 9 0 - 3	ン衣示 予度		
	一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一		判反		-
		「「山」」			-
		日以			-
				DELITSCH PORTUGUÊS 简休由文	
				繁體中文、日本語、하子어	
	リヤット				107
情報	モデル番号				
	シリアルナン	<u>(</u>			
	バージョン		コントロール		
			モジュール		
			ビデオモジュール		1
			オプション		108
			モジュール		
			フォーマッター		
			モジュール		1
			ライトモジュール		
1	ライト使用時間	目			

×=				参照
メインメニュー	サブメニ	<u>а</u> —	送抓填日	ページ
情報	入力端子	入力端子		
		信号形式]
		スキャン周波数]
		ピクセルクロック		
		信号形式]
		HDR モード		100
	システム情報	交流電圧		100
		ファンモード		
		レーザーパワー		
		輝度一定モード]
	温度情報	温度]
		ファン速度]

4-3. 入力端子

入力切替

投写する入力端子を選択します。

HDMI1	HDMI 1 入力端子に接続している機器の映像を投写します。
HDMI2	HDMI 2 入力端子に接続している機器の映像を投写します。
DisplayPort1	DisplayPort1 入力端子に接続している機器の映像を投写します。
DisplayPort2	DisplayPort2 入力端子に接続している機器の映像を投写します
HDBaseT	HDBaseT ポートに接続している機器の映像を投写します。
SDI	SDI 入力端子に接続している機器の映像を投写します。

自動調整

投写している映像を自動調整します。

・ プロジェクター本体の AUTO ADJUST ボタンを押しても自動調整ができます。

HDMI イコライザー

HDMI ケーブルの長さや品質によっては、HDMI 映像信号が減衰して、信号にノイズが出たり映像を正しく表示できないことがあります。

HDMI イコライザー機能により、HDMI 映像信号の減衰を補正します。

AUTO	信号減衰を自動で補正します。
1~7	信号の減衰量に合わせて補正量を選択します。数字が大きくなるほ ど補正量が多くなります。

[注意]

● すべての信号減衰に対応できるものではありません。

カラースペース

映像入力信号に応じたカラースペースを設定します。

自動	映像入力信号に応じて、自動的に対応するカラースペースに切り替 えます。
YPbPr	カラースペースを ITU-R BT 601 に切り替えます。
YCbCr	カラースペースを ITU-R BT 709 に切り替えます。
RGB PC	RGBのカラースペースを使用し、黒(0, 0, 0)と白(255, 255, 255)を設定します。(8 ビットカラー使用時)
RGB ビデオ	デジタルコンポーネント規格で定義されている輝度値に対応するため、RGBのカラースペースを使用し、黒(16, 16, 16) と白(235, 235, 235)を設定します。(8 ビットカラー使用時)

ノイズリダクション

ビデオ映像を投写するとき、ノイズリダクション機能を使うと、画面のノイズ(ざらつき や乱れ)を軽減することができます。

オートソース

映像入力信号を自動的にチェックし、最初に検出した信号の映像を投写します。

テストパターン

テストパターンを投写します。

- ・ ◀ / ▶ボタンを押してテストパターンの絵柄を変更します。
- ・ EXIT ボタンを押すとテストパターンを消します。
- ・ リモコンの TEST ボタンを押すことでもテストパターンを表示できます。

4-4.調 整

プリセット

投写した映像に最適な設定を選択します。

スタンダード	PowerPoint などでプレゼンテーションするときに適した設定 にします。
ビデオ	テレビ番組や一般的な映像ソースを投写するときに適した設定 にします。
sRGB	sRGB に準拠した色が再現されます。

明るさ

映像を明るくしたり、暗くします。

コントラスト

映像の暗い部分と明るい部分の差をはっきりしたり、淡くします。

色補正

赤、緑、青、黄、マゼンタ(紫)、シアン(明るい青緑)の各色の色味を調整します。

R (赤)	色相	赤色を中心とした赤色付近の色を調整します。 「+」方向へ移動すると黄色よりに変化し、「-」方向へ移動す るとマゼンタよりに変化します。
	彩度	赤色の強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「-」方向へ移動すると 弱く(白く)なります。
	ゲイン	赤色の明るさを調整します。 「+」方向へ移動すると明るくなり、「-」方向へ移動すると暗 く(黒く)なります。
G (緑)	色相	緑色を中心とした緑色付近の色を調整します。 「+」方向へ移動するとシアンよりに変化し、「-」方向へ移動 すると黄色よりに変化します。
	彩度	緑色の強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「-」方向へ移動すると 弱く(白く)なります。
	次ページ	

	ゲイン	緑色の明るさを調整します。 「+」方向へ移動すると明るくなり、「-」方向へ移動すると暗 く(黒く)なります。
B (青)	色相	青色を中心とした青色付近の色を調整します。 「+」方向へ移動するとマゼンタよりに変化し、「-」方向へ移 動するとシアンよりに変化します。
	彩度	青色の強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「-」方向へ移動すると 弱く(白く)なります。
	ゲイン	青色の明るさを調整します。 「+」方向へ移動すると明るくなり、「−」方向へ移動すると暗 く(黒く)なります。
C (シアン)	色相	シアンを中心としたシアン付近の色を調整します。 「+」方向へ移動すると青よりに変化し、「-」方向へ移動する と緑よりに変化します。
	彩度	シアンの強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「-」方向へ移動すると 弱く(白く)なります。
	ゲイン	シアンの明るさを調整します。 「+」方向へ移動すると明るくなり、「-」方向へ移動すると暗 く(黒く)なります。
M (マゼンタ)	色相	マゼンタを中心としたマゼンタ付近の色を調整します。 「+」方向へ移動すると赤よりに変化し、「-」方向へ移動する と青よりに変化します。
	彩度	マゼンタの強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「-」方向へ移動すると 弱く(白く)なります。
	ゲイン	マゼンタの明るさを調整します。 「+」方向へ移動すると明るくなり、「-」方向へ移動すると暗 く(黒く)なります。
Y (黄)	色相	黄色を中心とした黄色付近の色を調整します。 「+」方向へ移動すると緑よりに変化し、「-」方向へ移動する と赤よりに変化します。
	彩度	黄色の強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「-」方向へ移動すると 弱く(白く)なります。
	ゲイン	イエローの明るさを調整します。 「+」方向へ移動すると明るくなり、「-」方向へ移動すると暗 く(黒く)なります。

W (白)	赤明度	白色の色を調整します。 「+」方向へ移動すると赤よりに変化し、「-」方向へ移動する とシアンよりに変化します。
	緑明度	白色の色を調整します。 「+」方向へ移動すると緑よりに変化し、「-」方向へ移動する とマゼンタよりに変化します。
	青明度	白色の色を調整します。 「+」方向へ移動すると青よりに変化し、「-」方向へ移動する とイエローよりに変化します。
リセット		色補正のすべての調整値を出荷時の状態に戻します。

詳細設定

●彩度

色を濃くしたり、淡くします。

●色相

赤みがかった映像にしたり、緑がかった映像にします。

●シャープネス

映像をくっきりしたり、やわらかくします。

●ガンマ

映像の階調を選択します。これにより暗い部分も鮮明に表現できます。

【注意】

- 本機の「DICOM SIM.」は、DICOM 規格に近似した映像に調整する設定であり正し く投写できない場合があります。そのため「DICOM SIM.」は教育用途のみに使用し、 実際の診断には使用しないでください。
- ●「DICOM SIM.」の DICOM(ダイコム)は、医療用画像の保存や通信に用いられて いる世界標準規格の名称です。コンピューター断層撮影(CT)、磁気共鳴映像法(MRI) や内視鏡などの診療で用いられています。

●色域

投写する映像に応じて、本機の色域を変更することができます。

●色温度

色(R,G,B)のバランスを調整して色再現性を最良にします。

高い数値の色温度は青みがかった白になり、低い数値の色温度は赤みがかった白になります。

3200K、5400K、6500K、7500K、9300K、リアルの中から設定できます。

●入力バランス

信号の白レベルと黒レベルを調整して色再現性を最良にします。

赤明度 緑明度 青明度	映像の白色を調整します。	
赤オフセット 緑オフセット 青オフセット	映像の黒色を調整します。	
リセット	入力バランスのすべての調整値を出荷時の状態に戻します。	

【注意】

● ホワイトバランスを操作した場合は、色温度の数値と実際の色合いが異なります。

色むら補正

画面の色むらを調整します。

モード	色むら補正機能の有効・無効を設定します。
位置 X	水平方向の位置を指定します。
位置Y	垂直方向の位置を指定します。
赤明度 緑明度 青明度	各色成分の明るさを調整します。
リセット	色むら補正の調整値を出荷時の状態に戻します。

HDR モード

HDR 対応機器から入力した HDR 映像信号のフォーマットを選択します。

オフ	HDR 映像信号処理をしません。
自動	信号を自動判別します。
PQ-400	PQ-400 フォーマット映像信号入力時に選択します。
PQ-500	PQ-500 フォーマット映像信号入力時に選択します。
PQ-1000	PQ-1000 フォーマット映像信号入力時に選択します。
HLG	HLG フォーマット映像信号入力時に選択します。

スムーズピクチャー

表示解像度を設定します。

オフ	WUXGA(1920 × 1200)解像度を表示します。
オン	4K (3840 × 2400) 解像度を表示します。

4-5.表示

アスペクト

画面の縦横の比率を選択します。

5:4	5:4のサイズで投写します。		
4:3	4:3のサイズで投写します。		
16:10	16:10のサイズで投写します。		
16:9	16:9のサイズで投写します。		
1.88	1.88:1 の(ビスタ)サイズで投写します。		
2.35	2.35:1 の(シネマスコープ)サイズで投写します。		
レターボックス	16:9のレターボックス信号を投写します。 レターボックス		
ノーマル	入力信号のアスペクト比を自動判別して投写します。 入力信号によっては、アスペクト比を誤判別することがあります。 誤判別したときは、以下の項目から適切なアスペクト比を選択し てください。		
リアル	【スムーズピクチャーが「オン」の場合】 コンピューター入力信号の解像度が本機の表示解像度(3840 × 2400)よりも小さいときに、コンピューター入力信号の解像度の まま投写します。また、本機の表示解像度よりも大きいときは、 コンピューター入力信号の解像度のまま画面の中心を投写します。 【スムーズピクチャーが「オフ」の場合】 コンピューター入力信号の解像度が本機の解像度(1920 × 1200)よりも小さいときに、コンピューター入力信号の解像度の まま投写します。また、本機の解像度よりも大きいときは、コン ピューター入力信号の解像度のまま画面の中心を投写します。		

投写方法

本機やスクリーンの設置状況に合わせて選択してください。



天吊りなどの特別な工事が必要な設置についてはお買いあげの販売 店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。お客様による設置は 絶対にしないでください。落下してけがの原因となります。



【注意】

● 投写方法は、リセットしても変更されません。

ズーム

画面を最大4倍まで拡大します。



デジタルズーム	画面を最大4倍まで拡大します。
水平位置	「デジタルズームで画面を拡大したときに、◀/▶ボタンを押して
	画面を水平方向に動かします。
垂直位置	「デジタルズームで画面を拡大したときに、◀/▶ボタンを押して
	画面を垂直方向に動かします。
リセット	画面をもとの状態に戻します。

オーバースキャン

オーバースキャン(画面周囲のフレーム部分をカットする処理)を設定します。

オフ	オーバースキャンをしません。	
ワイドズーム	映像の周囲を隠して投写します。	
ズーム	投写画面に合うように、映像を拡大します。	

ブランキング

映像信号の上端、下端、左端、右端の表示範囲(ブランキング)を調整します。



幾何学補正

スクリーンの斜め方向から投写した場合の投写画面の歪みを補正して、映像をスクリーン の枠に合わせます。

●モード

投写画面の歪みを補正する方法を選択します。 オフを選択すると、幾何学補正が無効になります。

●台形補正

投写画面の水平方向の調整と垂直方向の調整を組み合わせて台形歪みを調整します。

水平調整	-360 (-36°)		360 (36°)
垂直調整	-360 (-36°)		360 (36°)
回転	水平方向と垂直方向の きます。	D台形歪みを調整した	あと、回転することがで
スローレシオ	使用しているオプショ	ンレンズの投写比に応	いて調整します。
リセット	台形補正の調整値を出荷時の状態に戻します。		

● 4 点補正

上端 - 左端

左上のコーナー歪みを調整します。



上端 - 右端

右上のコーナー歪みを調整します。

水平	-192 (Pixels)	192 (Pixels)
垂直	-120 (Pixels)	120 (Pixels)

下端 - 左端

左下のコーナー歪みを調整します。

水平	-192 (Pixels)	192 (Pixels)
垂直	-120 (Pixels)	120 (Pixels)

下端 - 右端

右下のコーナー歪みを調整します。

水平	-192 (Pixels)	192 (Pixels)
垂直	-120 (Pixels)	120 (Pixels)

水平リニアリティ

水平方向の直線性を補正します。

垂直リニアリティ

垂直方向の直線性を補正します。

リセット

4 点補正の調整値を出荷時の状態に戻します。

●ピンクッション/樽型歪み

円筒形のスクリーンや球面に投写する場合に調整します。

上端	-250 (-50%)		300 (60%)
下端	-250 (-50%)		300 (60%)
左端	-250 (-50%)		300 (60%)
右端	-250 (-50%)		300 (60%)
水平台形補正	水平方向の台形補正の	調整例:	
重直台形補正	垂直方向の台形補正の	調整例:	
スローレシオ	使用しているオプション	ンレンズの投写比に応	じて調整します。

● PC ツール

本機にあらかじめ登録されている幾何学補正のデータを呼び出します。 登録データは2つあります。 また、当社のアプリケーションソフト ProAssist で調整して本機に登録した幾何学補正の データを呼び出します。

[注意]

● 幾何学補正は電気的な補正をしているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合が あります。

エッジブレンディング

本機を左右上下に複数台組み合わせて、解像度の高い映像を投写する際に、投写画面の端 (境界)を調整します。(→70ページ)

モード	エッジブレンディング機能の有効・無効を設定します。
マーカー	エッジブレンディング領域の幅を調整するときにマーカーを表示す るかしないかを設定します。
範囲	必要に応じてエッジブレンディングの開始位置を調整します。
ホワイトレベル	エッジブレンディング領域の幅を調整します。
黒レベル	マルチ画面の重なっていない映像の黒レベルを調整します。
リセット	エッジブレンディングの調整値を出荷状態に戻します。

プロジェクター4台を縦横に2台ずつ並べて投写した画面の例



a: 投写画面 / b: エッジブレンディング領域

スクリーン

スクリーンタイプ	投写するスクリーンの比率を設定します。
	16:10、16:9、4:3、2.35:1 の中から選択します。
位置	スクリーンタイプが「16:10」以外のときに、投写画面の位置
	を調整します。

レンズ

●レンズロック

ズーム / フォーカスの調整、レンズシフト、およびレンズキャリブレーション機能を使用 禁止にします。

●レンズタイプ

本機に取り付けているレンズのタイプを選択します。

●レンズ制御

ズーム/フォーカスおよび投写画面位置を調整します。 ・レンズ制御は、プロジェクター本体およびリモコンのボタンを押しても調整できます。

次の手順で操作します。

1. メニューで「レンズ制御」にカーソルを合わせ、ENTER、または▶ボタンを 押す。

ズーム / フォーカスの調整画面が表示されます。

- 2. フォーカスを調整する場合は、 ◀ / ▶ボタンを押す。
- 3. ズームを調整する場合は、▼/▲ボタンを押す。
- 4. フォーカスとズームの調整が終わったら、ENTER ボタンを押す。 レンズシフトの調整画面が表示されます。
- ▲▼◀▶ボタンを押す。 押したボタンの方向へレンズがシフトします。
- レンズシフトが終わったら、ENTER ボタンを押す。 ズーム / フォーカスの調整画面が表示されます。 上の2~6を繰り返します。
- 7. レンズ制御を終了する場合は、MENUボタンを押す。

●レンズメモリー

スクリーンへの投写位置、大きさ(レンズシフト、ズーム、フォーカスの各調整値)を本 機のメモリーに保存します。最大 10 個を保存できます。 保存したレンズメモリーを呼び出すと自動的に調整します。

[注意]

●レンズメモリーは、リセットしても変更されません。

●レンズキャリブレーション

レンズユニット及びレンズシフトの調整範囲を校正し、レンズシフトがホームポジション に戻ります。レンズユニットを交換したあとは、必ずレンズキャリブレーションを実行し てください。(→48 ページ)

4-6. 設定(1)

基準ライトモード

使用目的などに合わせてライトモードを選択できます。また、出力を調整して輝度(明るさ) を変えることができます。

また、複数台のプロジェクターを組み合わせて投写するときに、各プロジェクター間の輝度合わせができます。

基準ライト	IJ	輝度(明るさ)が約 90% * 1 になります。
モード		冷却ファンの回転数も対応して下がります。
		消費電力が下がります。
	フル	輝度(明るさ)が約 100% *1 になります。
		明るい画面になります。
	ノーマル	標準的なモードです。
基準ライト調整	2000	基準ライトモードを「ノーマル」に設定しているときに、
		輝度(明るさ)を30%~100%*2の範囲(1%刻み)
		で調整できます。
輝度一定モー	オフ	輝度一定モードが解除されます。
ド	オン	「オン」に切り替えた時点の明るさを基準にして、明る
		さを一定に保つように制御します。調整値は「オフ」に
		しない限り電源を切っても記憶しています。
		・再度輝度調整を実施する場合は、一度「オフ」にして
		から輝度調整してください。
ダイナミックコ	ントラスト	「オン」に設定すると映像に応じて最適なコントラスト
		比に調整します。
ライトオフタイマー		ダイナミックコントラストを「オン」に設定していると
		き、投写している画面全体が黒い場合にライトオフタイ
		マーで設定した時間が経過するとレーザーの発光を停止
		します。
		ライトオフタイマーを「オフ」に設定すると、黒い画面
		でもレーザーの発光を停止しません。

XP-X171Q-BをAC 100 V で使用する場合は明るさが変わります。

※1:約85%

 $2:30 \sim 85\%$

[注意]

● 輝度一定モードを「オン」に設定している場合は、基準ライトモードと基準ライト調整は選択できません。

[参考]

●通常は使用時間に応じて輝度が下がりますが、輝度一定モードを設定すると、本体内部のセンサーで輝度を検出して出力を自動調整し、輝度を維持できます。 ただし、出力が最大になった後は、使用時間に応じて輝度が下がります。

ファンモード

本機内部の温度を下げるための冷却ファンの動作を設定します。

自動	本機内部の温度センサーにより、適切な速度で回転します。ファン の回転音が静かです。
強	輝度(明るさ)が下がり、ファンが常に高速で回転します。

[注意]

- 数日間連続して本機を使用する場合は、必ず「強」に設定してください。
- ●ファンモードは、リセットしても変更されません。
- 標高約 1499m 以上の場所で本機を使用する場合は、必ずファンモードを「強」に設 定してください。「強」に設定していないと、本機内部が高温になり、故障の原因と なります。
- ファンモードを「強」に設定しないまま、標高約 1499m 以上の高地で本機を使用した場合、温度プロテクターが働き、自動的に電源が切れることがあります。 さらに、光源が消灯後内部の温度が上昇するため、温度プロテクターが働いて、電源が入らないことがあります。その場合は、しばらく待ってから電源を入れてください。
- 高地で使用すると、光学部品(光源など)の交換時期が早まる場合があります。

リモコン

リモコン受光部とコントロール ID 番号を設定します。

コントロール ID を使用すると、複数台のプロジェクターに ID を割り振り、1 個のリモコンを使用して、ID を切り替えることにより、各々のプロジェクターを個別に操作することができます。

また、複数台のプロジェクターに同じ ID を設定し、1 個のリモコンで一括操作する場合な どに利用します。

リモコン受光部設定	リモコン受光部の有効、無効を選択します。
コントロール ID 番号	プロジェクターに割り当てる番号を1~99の中から選択し
	まり。
	0 を選択すると、コントロール ID 機能が無効になります。
リセット	プロジェクターに設定したコントロール ID 番号を削除しま
	す。

リモコンへの ID の設定/変更方法

1. プロジェクターの電源を入れる。

2. リモコンの ID SET ボタンを押したまま数字ボタンを 押して、リモコンの ID を設定する。 たとえば「3」に変更するには数字の3を押します。

ID SET ボタンを押したまま数字の0を押すと、コントロール ID 設定を解除します。

[参考]

● リモコンの ID は 1 ~ 99 まで登録できます。



[注意]

- リモコンの乾電池が消耗した場合や乾電池を抜いた場合、 しばらくするとIDはクリアされることがあります。
- リモコンの乾電池を抜いた状態でいずれかのボタンを押してしまうと、設定している ID はクリアされます。

静止

表示している映像が静止画になります。

【参考】

●静止を実行したときに投写されていた映像を本機のメモリーに保存し、メモリー内の 映像(静止画)を投写します。静止画表示中、ブルーレイプレーヤーなどの映像再生 は先に進行しています。

トリガー

入力された映像信号に応じて、スクリーントリガー端子から、スクリーンコントロールの ための制御電圧を出力するか出力しないかを設定します。

スタンバイタイマー

電源を切る操作をしてから、すぐにスタンバイ状態にするか、待ち時間を設定するかを選択します。

オフ	電源を切る操作をすると、すぐにスタンバイ状態になります。
オン	電源を切る操作をしても、スタンバイ状態にはならずに、オフ
	タイマーで指定した時間だけ光源が消灯します。

[注意]

●スタンバイタイマーは、リセットしても変更されません。

オフタイマー

電源を切る操作をしてからスタンバイ状態になるまでの待ち時間を設定します。 スタンバイタイマーが「オン」のときに設定できます。

[注意]

◆オフタイマーは、リセットしても変更されません。

ネットワーク設定

本機をネットワークに接続して使用する際の各種設定をします。

●有線 LAN

DHCP	オン…DHCP サーバーによって IP アドレス、サブネットマス ク、ゲートウェイが自動的に割り当てられます。 オフ…ネットワーク管理者から割り当てられた任意の IP アド レスやサブネットマスクを手動で設定します。
IP アドレス	 「DHCP」を「オフ」にした場合に、本機を接続するネットワークにおける本機のIP アドレスを設定します。 IP アドレスを変更する場合は次のように操作します。 ① IP アドレスにカーソルを合わせ ENTER ボタンを押す。編集モードになります。 ② ◀ / ▶ボタンを押して数字を選択する。 ③ ▼ / ▲ボタンを押して数字を増減する。 ④ 決定する場合は ENTER ボタンを押す。
サブネットマスク	「DHCP」を「オフ」にした場合に、本機を接続するネットワークにおける本機のサブネットマスクを設定します。
ゲートウェイ	「DHCP」を「オフ」にした場合に、本機を接続するネットワー クのデフォルトゲートウェイを設定します。 ゲートウェイを変更する方法は、IP アドレスの項目を参照し てください。
DNS 設定	本機を接続するネットワークの DNS サーバーの IP アドレス を設定します。 DNS を変更する方法は、IP アドレスの項目を参照してください。
MACアドレス	本機の MAC アドレスが表示されます。
再接続	ネットワークの接続を試みます。

[注意]

● 有線 LAN は、リセットしても変更されません。

AMX BEACON

本機を AMX 社の NetLinx コントロールシステムに対応したネットワークに接続した場合、 AMX Device Discovery からの検出の有効/無効を設定します。

オン…AMX Device Discovery からの本機の検出を有効にします。

オフ…AMX Device Discovery からの本機の検出を無効にします。

【参考】

● AMX Device Discovery は、対応した機器を接続すると自動的に検出し、制御に必要
な Device Discovery Module を AMX のサーバーからダウンロードする仕組みです。

4-7. 設定 (2)

電源設定

●スタンバイモード

本機の電源を切った後のスタンバイ設定を選択します。

省電力	スタンバイ時の消費電力を必要最低限に抑える設定です。
	ネットワークは無効です。
LAN	スタンバイ時に、有線 LAN を使って本機を操作できます。
HDBaseT	スタンバイ時に、有線 LAN または HDBaseT ポートに接続した
	HDBaseT 対応の伝送機器を使って本機を操作できます。

[注意]

● スタンバイモードは、リセットしても変更されません。

●オートパワーオフ

ー定時間以上信号入力がなく、また本機を操作しなかった場合、自動的に本機の電源を切 ります。

●ダイレクトパワーオン

本機の電源プラグにAC電源が供給されると自動的に電源が入るように設定します。 本機を制御卓などでコントロールする場合に使用します。

オフ	AC 電源が供給されるとスタンバイ状態になります。
オン	前回電源を切るときに投写していた入力端子の信号が投写されます。
	【参考】
	 オートソースを「オン」にしていると、ダイレクトパワーオン時にオートソースが働きます。



● プロジェクターは強い光を投写します。電源を入れる際は、投写 範囲内にレンズを見ている人がいないことを確認してください。

バックグラウンド

入力信号がないときの背景色を選択します。 ブルーバック、ブラックバック、ロゴのいずれかを選択できます。 ロゴとして画像を登録するには「バックグラウンドロゴを登録する」(→151ページ)を ご覧ください。

メニュー設定

起動時ロゴ	本機を起動中に表示する背景色を選択します。
メニュー位置	メニューを表示する位置を変更します。5 箇所から選択で きます。
メニュー透過率	メニューの透過率を選択します。
表示時間	メニューを表示しているとき、次のボタン操作がない場合 にメニューを自動的に閉じるまでの時間を選択します。
メッセージ表示	投写画面下側に本機のメッセージを表示するか、しないか を選択します。
メニュー角度	オンスクリーン表示(メニュー、入力端子、メッセージ) の向きを選択します。

画像メモリー

画質に関する設定を本機のメモリーに4つまで保存できます。

【保存できる設定項目】

HDMI イコライザー、カラースペース、ノイズリダクション、プリセット、明るさ、コントラスト、色補正、彩度、色相、シャープネス、ガンマ、色域、色温度、入力バランス、 HDR モード、アスペクト、オーバースキャン、ダイナミックコントラスト、ライトオフタイマー

- ●「登録」の1~4のいずれかにカーソルを合わせて ENTER または▶ボタンを押すと、 設定が保存されます。
- ●保存した設定を呼び出すときは、「呼出」の1~4から選択してENTERまたは▶ボタンを押します。
- ●「リセット」を選択すると、上記の項目の設定値が出荷時の状態に戻ります。1~4 に 登録しているデータは消えません。

言語

メニューに表示される言語を選択します。

リセット

本機に記憶されているすべての調整値および設定値を工場出荷状態に戻します。 リセットの処理には多少時間がかかります。

【リセットされないデータ】

スムーズピクチャー、投写方法、レンズ制御、レンズメモリー、レンズキャリブレーション、ファンモード、スタンバイタイマー、オフタイマー、有線 LAN、スタンバイモード

4-8. 情報

モデル番号	形名を表示します。
シリアルナンバー	シリアルナンバーを表示します。
バージョン	ファームウェアのバージョン番号を表示します。
ライト使用時間	ライト使用時間を表示します。
入力端子	投写中の信号の情報を表示します。
システム情報	本機の状態を表示します。
温度情報	吸気口の温度や本体内部の温度、各種冷却ファンの回転数など
	を表示します。
<u>5. レンズユニットの取り付け/取り外し</u>

本機は、6種類の別売レンズユニットが使用できます。ここでは XP-61ZL で説明します。 他のレンズユニットも同じ方法で取り付けてください。

レンズユニットを本機に取り付けたとき、またはレンズユニットを交換したときは、本体のLENS CALIBRATION ボタンを押して、「レンズキャリブレーション」を実行してください。

レンズキャリブレーションを実行することにより、レンズユニット及びレンズシフトの調 整範囲を校正します。



レンズユニットの取り付けや取り外しは(1)電源を切る操作をし、 冷却ファンが停止するのを待つ、(2)電源プラグをコンセントから 抜いて、本体が十分冷えてから着脱してください。投写状態で脱着す ると目の障害、感電やけどの原因になります。

[重要]

- プロジェクターおよびレンズユニットは精密部品でできています。衝撃を与えたり、 無理な力を加えたりしないでください。
- 別売のレンズユニットを装着しているときに本機を移動する際はいったんレンズユニットを取り外してください。移動する際にレンズユニットに衝撃を与えると、レンズユニットおよびレンズシフト機構が破損するおそれがあります。
- 本機からレンズユニットを取り外す際は、電源を切る前にレンズ位置をホームポジションに戻してください。ホームポジションに戻していないと、プロジェクターとレンズユニットの隙間が狭くなり、取り外しおよび取り付けの障害になります。
- 作業中、レンズ面には絶対に手を触れないでください。
- レンズ面にゴミや油などが付着しないよう、また、傷が付かないように十分ご注意く ださい。
- 作業は平らな場所で、傷が付かないように布などを敷いてください。
- 長時間レンズユニットを外しておく場合は、防塵キャップを本体に取り付け、ほこり やゴミが内部に入らないようにしてください。

用意するもの

ボールポイント6角レンチドライバー(対辺2.5mm)

取り付けかた

1. 本体の防塵キャップを外す。 左上のツマミを外側に向けて押しながら、 中央のツマミを引いて外してください。



 レンズユニット後ろのレンズキャップを 外す。

[注意]

- 後ろのレンズキャップは必ず取り外して ください。後ろのレンズキャップを取り 付けたまま本体に取り付けると故障の原 因となります。
- レンズユニットの矢印マーク③が印刷されているラベル面を上に向けて、プロジェクター本体に挿入する。

角度を維持したままゆっくり奥まで挿入して ください。





レンズユニットを右に回す。
 カチッと音がするまで回します。

レンズユニットがプロジェクター本体に固定 されます。



 ボールポイント6角レンチドライバーで レンズユニットのネジ®を右へ回して締 め付ける。

取り外しかた

- **準備:**1. プロジェクターの電源を入れ投写状態にしてください。 2. 本体の LENS CALIBRATION ボタンを押してください。
 - レンズ位置がホームポジションに戻ります。
 - 3. 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - 4. レンズにレンズキャップを取り付けてください。
 - 5. しばらく待って、本体が十分に冷えたことを確認してください。

 ボールポイント6角レンチドライバーで レンズユニットのネジ③を空転するまで 左へ回してゆるめる。
 ネジは外れません。



2. プロジェクター本体前面のレンズリリー ス(LENS)ボタンを奥まで押し込みな がら、レンズユニットを左に回す。 レンズユニットが外れます。





6. 機器と接続する



●本機と外部機器は、必ず本機の電源が切れた状態で接続してください。投写光が目に入ると、視力障害の原因となることがあります。

[注意]

●本機に接続ケーブルは添付していません。外部機器と接続する際は、接続に合ったケーブルをご用意ください。
 HDMI、LAN、BNC、RS-232C、DisplayPort についてはシールドタイプのケーブルを使用してください。
 これ以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。

6-1. コンピューターや映像機器と接続する

コンピューターや映像機器との接続例です。



a: DisplayPort ケーブル(市販)

·長さ5m以下の認証済みケーブルを使用してください。

- b:コンピューターなど
- c:HDMI ケーブル(市販)
 - ・長さ15m以下のプレミアムハイスピード対応ケーブルを使用してください(4K 信号の場合は最長5m)。
- b:ブルーレイプレーヤーなど
- e:BNC ケーブル(市販)
 - ・長さ80m以下で12G-SDI対応のCANARE製ケーブルを使用してください。
- f:業務用映像機器など
 - ・12Gに対応しています。

[参考]		
● 本機は HDCP(不正コピー防止を目的とする著作権保護用システム)を装備し	てい	
ます。ただし、HDCP の規格が変更された場合などは、プロジェクターが故障	して	
いなくても、映像が表示されないことがあります。		

6-2. HDBaseT 対応の伝送機器(市販)と接続する

HDBaseTは、HDBaseT Alliance によって策定された家電製品向けの接続規格です。 市販のLAN ケーブルを使って、本機のHDBaseT IN ポートを市販のHDBaseT 対応の伝 送機器に接続します。

本機の HDBaseT IN ポートは、伝送機器からの HDMI 信号(HDCP 対応)、外部機器からの制御信号(シリアル、LAN)、リモコン信号(IR コマンド)に対応しています。外部機器との接続については、HDBaseT 対応の伝送機器の取扱説明書をご覧ください。



d:伝送機器の例/e:HDMI出力映像機器

接続例

[注意]

- LAN ケーブル(市販)は長さ80 m 以下でカテゴリ6 A 以上のシールド付きツイストペア(STP)ケーブルを使用してください。
- 本機と伝送装置との間に他の伝送装置を使用しないでください。画質が劣化すること があります。
- 本機は、市販のすべての HDBaseT 対応の伝送機器との接続を保証するものではありません。

6-3. 有線 LAN と接続する

本機には LAN ポートが標準装備されています。LAN ケーブルを接続すると LAN 環境を 利用することができます。本機を LAN 環境で使用する場合は、本機に IP アドレスなどを 設定する必要があります。本機への LAN の設定について詳しくは、本書のオンスクリー ンメニュー→設定(1)→ネットワーク設定→有線 LAN(→ 103 ページ)をご覧ください。

接続例



- a : サーバー / b : HUB など /
- **c:LAN ケーブル(市販)**(カテゴリ 5e 以上のシールド付きツイストペア(STP)ケーブルを 使用してください。)

7. 本体のお手入れ

<u>7-1. レンズの清掃</u>



市販のプラスチック用レンズクリーナーを使用して汚れをふき取ってください。

[注意]

● アルコールは絶対に使用しないでください。レンズの表面を傷める原因となります。



7-2. キャビネットの清掃

 ・お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

 キャビネットなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。

- 毛羽立ちの少ないやわらかい乾いた布でふいてください。
 汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤でふかないでください。変質したり、塗料がはげること があります。
- 通風口のほこりを取り除く場合は、掃除機のブラシ付きのアダプターを使用して吸い 取ってください。なお、アダプターを付けずに直接当てたり、ノズルアダプターを使用 することは避けてください。



通風口のほこりを吸い取ります。

- 通風口(本体底面にもあります)にほこりがたまると、空気の通りが悪くなり内部の温 度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに清掃をしてください。
- キャビネットを爪や硬いもので強くひっかいたり、当てたりしないでください。傷の原因となります。
- ●本体内部の清掃については、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わ せください。

[注意]

● キャビネットやレンズおよびスクリーンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。

また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、 塗料がはげるなどの原因となります。

8.付録

8-1. 投写距離とスクリーンサイズ

本機は、6種類のレンズユニット(別売)が使用できます。このページの情報を参考にして、 設置環境(スクリーンサイズと投写距離)に応じたレンズユニットをお使いください。

下図は各レンズユニットの投写範囲のイメージです。



─ XP-57ULレンズ

レンズユニットの種類と投写距離(アスペクト比 16:10)

スクリーンサイズ(cm)			レンズユニットの形名と投写距離(m)			
	対角	幅 x 高さ	XP-57UL	XP-58ZL	XP-59ZL	
50 型	127.0	107.7 x 67.3	—	_	0.8~1.1	
60 型	152.4	129.2 x 80.8	$0.4 \sim 0.4$	$0.7 \sim 0.9$	0.9~1.4	
80 型	203.2	172.3 x 107.7	$0.5 \sim 0.6$	0.9~1.3	1.3 ~ 1.9	
100 型	254.0	215.4 x 134.6	$0.7 \sim 0.7$	1.2~1.6	1.6~2.4	
120 型	304.8	258.5 x 161.5	$0.8 \sim 0.9$	1.4 ~ 1.9	1.9~2.9	
150 型	381.0	323.1 x 201.9	1.0 ~ 1.1	1.8~2.4	$2.4 \sim 3.6$	
200 型	508.0	430.8 x 269.2	$1.4 \sim 1.5$	2.4 ~ 3.3	3.3~4.8	
240 型	609.6	516.9 x 323.1	$1.7 \sim 1.8$	2.9~3.9	3.9~5.8	
300 型	762.0	646.2 x 403.9	2.1 ~ 2.2	3.6~4.9	5.0~7.3	
400 型	1016.0	861.6 x 538.5	$2.8 \sim 3.0$	4.8~6.6	$6.6 \sim 9.7$	
500 型	1270.0	1077.0 x 673.1	_	_	8.3~12.2	
600 型	1524.0	1292.3 x 807.7	_	_	_	

スクリーンサイズ (cm)			レンズユニットの形名と投写距離(m)			
	対角	幅 x 高さ	XP-60ZL	XP-61ZL	XP-62ZL	
50 型	127.0	107.7 x 67.3	1.1 ~ 1.5	1.5~2.2	2.2 ~ 4.3	
60 型	152.4	129.2 x 80.8	1.3 ~ 1.8	1.8~2.7	2.7 ~ 5.2	
80 型	203.2	172.3 x 107.7	1.8~2.4	$2.4 \sim 3.6$	3.6~7.0	
100 型	254.0	215.4 x 134.6	2.2 ~ 3.1	3.0~4.6	4.5~8.8	
120 型	304.8	258.5 x 161.5	$2.7 \sim 3.7$	$3.6 \sim 5.5$	$5.4 \sim 10.6$	
150 型	381.0	323.1 x 201.9	$3.4 \sim 4.7$	4.6~6.9	6.8~13.4	
200 型	508.0	430.8 x 269.2	$4.6 \sim 6.2$	6.1~9.2	9.1 ~ 17.9	
240 型	609.6	516.9 x 323.1	$5.5 \sim 7.5$	$7.4 \sim 11.1$	10.9 ~ 21.5	
300 型	762.0	646.2 x 403.9	$6.9 \sim 9.4$	9.2 ~ 13.9	13.6 ~ 27.0	
400 型	1016.0	861.6 x 538.5	9.3 ~ 12.6	12.3 ~ 18.5	18.2 ~ 36.0	
500 型	1270.0	1077.0 x 673.1	11.6 ~ 15.8	15.4 ~ 23.2	22.8~45.1	
600 型	1524.0	1292.3 x 807.7	14.0~18.9	18.5 ~ 27.9	27.3 ~ 54.2	

レンズユニットの種類と投写距離(アスペクト比 16:9)

スクリーンサイズ(cm)			レンズユニットの形名と投写距離(m)			
	対角	幅 x 高さ	XP-57UL	XP-58ZL	XP-59ZL	
50 型	127.0	110.7 x 62.3	0.3~0.3	0.6~0.8	0.8~1.2	
60 型	152.4	132.8 x 74.7	0.4~0.4	0.7~1.0	1.0~1.4	
80 型	203.2	177.1 x 99.6	0.5~0.6	1.0~1.3	1.3~1.9	
100 型	254.0	221.4 x 124.5	0.7~0.7	1.2~1.7	1.6~2.4	
120 型	304.8	265.7 x 149.4	0.8~0.9	1.5~2.0	2.0~2.9	
150 型	381.0	332.1 x 186.8	1.1~1.1	1.8~2.5	2.5~3.7	
200 型	508.0	442.8 x 249.1	1.4~1.5	2.5~3.4	3.4~5.0	
240 型	609.6	531.3 x 298.9	1.7~1.8	3.0~4.0	4.1~6.0	
300 型	762.0	664.1 x 373.6	2.1~2.3	3.7~5.1	5.1~7.5	
400 型	1016.0	885.5 x 498.1	2.9~3.1	5.0~6.8	6.8~10.0	
500 型	1270.0	1106.9 x 622.6	_			
600 型	1524.0	1328.3 x 747.2		_	_	

スクリーンサイズ (cm)			レンズユニットの形名と投写距離(m)			
	対角	幅 x 高さ	XP-60ZL	XP-61ZL	XP-62ZL	
50 型	127.0	110.7 x 62.3	$1.1 \sim 1.5$	1.5~2.3	2.3~4.4	
60 型	152.4	132.8 x 74.7	$1.3 \sim 1.9$	1.8~2.8	2.8~5.4	
80 型	203.2	177.1 x 99.6	$1.8 \sim 2.5$	2.5~3.7	3.7~7.2	
100 型	254.0	221.4 x 124.5	$2.3 \sim 3.2$	3.1~4.7	4.6~9.1	
120 型	304.8	265.7 x 149.4	$2.8 \sim 3.8$	3.7~5.7	5.6~11.0	
150 型	381.0	332.1 x 186.8	$3.5 \sim 4.8$	4.7~7.1	7.0~13.7	
200 型	508.0	442.8 x 249.1	$4.7 \sim 6.4$	6.3~9.5	9.3~18.4	
240 型	609.6	531.3 x 298.9	$5.7 \sim 7.7$	7.6~11.4	11.2~22.1	
300 型	762.0	664.1 x 373.6	$7.1 \sim 9.7$	9.5~14.3	14.0~27.7	
400 型	1016.0	885.5 x 498.1	$9.6 \sim 12.9$	12.7~19.1	18.7~37.1	
500 型	1270.0	1106.9 x 622.6	$12.0 \sim 16.2$	15.8~23.9	23.4~46.4	
600 型	1524.0	1328.3 x 747.2				

画面サイズからの投写距離の計算方法

L:投写距離

W:スクリーンの幅

レンズユニット	計算式(ズーム最小~ズーム最大)
XP-57UL	L= W $ imes$ 0.31 \sim W $ imes$ 0.33
XP-58ZL	$L = W \times 0.5 \sim W \times 0.7$
XP-59ZL	$L = W \times 0.7 \sim W \times 1.1$
XP-60ZL	$L = W \times 1.0 \sim W \times 1.4$
XP-61ZL	$L = W \times 1.4 \sim W \times 2.1$
XP-62ZL	$L = W \times 2.1 \sim W \times 4.0$

(計算例)

レンズユニット XP-61ZL を使用して 16:10 の 150 型スクリーンに投写する場合の投写距離 「レンズユニットの種類と投写距離(アスペクト比 16:10)」(→ 122 ページ)の表より、W(ス クリーン幅) = 323.1 cm となります。

投写距離は、323.1 cm × 1.4 ~ 323.1 cm × 2.1 = 452.3 cm ~ 678.5 cm となりま す(ズームレンズのため)。

※簡易計算式のため数%の誤差があります。

レンズシフト範囲

本機にはボタン操作で画面位置を調整するレンズシフト機能があります。次の範囲内のレ ンズシフトができます。

- レンズシフトの操作および注意事項は 52 ページをご覧ください。
- 記号の意味: Vは垂直(投写画面の高さ)、Hは水平(投写画面の幅)を表し、レンズシ フト範囲を高さおよび幅の比率で表しています。



図の番号	レンズユニット					
	XP-57UL	XP-58ZL	XP-59ZL	XP-60ZL	XP-61ZL	XP-62ZL
12	50%V			60%V		
34	—	20%H				
56	—	10%V		25%V		

(計算例)

XP-61ZL レンズで 16:10 の 150 型で投写している場合

「レンズユニットの種類と投写距離(アスペクト比 16:10)」(→ 122 ページ)の表より H=323.1 cm、V=201.9 cm になります。

垂直方向の調整範囲:上下両方向に 0.60 × 201.9cm ≒ 121cm 投写画面を移動すること ができます(レンズが中心位置の場合)。

水平方向の調整範囲:左右両方向に 0.20 × 323.1cm ≒ 65cm 投写画面を移動することができます。

※簡易計算式のため数%の誤差があります。

8-2. 対応解像度一覧

HDMI

信号名	解像度(ドット)	アスペクト 比		色深度 (ビット)	信号形式
VGA	640×480	4:3	60	8	RGB
SVGA	800×600	4:3	60	8	RGB
XGA	1024×768	4:3	60	8	RGB
HD	1280×720	16:9	60	8	RGB
WXGA	1280×768	15:9	60	8	RGB
	1280×800	16 : 10	60	8	RGB
Quad-VGA	1280×960	4:3	60	8	RGB
SXGA	1280 × 1024	5:4	60	8	RGB
FWXGA	1366 × 768	16:9	60	8	RGB
SXGA+	1400×1050	4:3	60	8	RGB
WXGA+	1440×900	16 : 10	60	8	RGB
WSXGA+	1680 × 1050	16 : 10	60	8	RGB
UXGA	1600 × 1200 *1	4:3	60	8	RGB
Full HD	1920 × 1080 *1	16:9	60	8	RGB
WUXGA	1920 × 1200 *1	16 : 10	60 Reduced Blanking	8	RGB
2K	2048 × 1080	16:9	24/25/30/50/60	8/10/12	RGB/
					YCbCr4:4:4/ YCbCr4:2:2
4KUHD	3840 × 2160	16 : 9	24/25/30	8/10/12	RGB/ YCbCr4:4:4/ YCbCr4:2:2
			50/60	8	RGB/ YCbCr4:4:4/ YCbCr4:2:2
				10/12	YCbCr4:2:2/ YCbCr4:2:0
4K+	3840 × 2400	16 : 10	24/25/30/50/60 Reduced Blanking	8/10/12	RGB/ YCbCr4:4:4/ YCbCr4:2:2
HDTV(1080p)	1920×1080	16:9	24/25/30/50/60		RGB/
HDTV(1080i)	1920×1080	16:9	50/60	8/10/12	YCbCr4:4:4/
HDTV (720p)	1280 × 720	16:9	50/60		YCbCr4:2:2

HDBaseT

信号名	解像度(ドット)	アスペクト 比	垂直走査周波数(Hz)	色深度 (ビット)	信号形式
VGA	640×480	4:3	60	8	RGB
SVGA	800×600	4:3	60	8	RGB
XGA	1024×768	4:3	60	8	RGB
HD	1280×720	16:9	60	8	RGB
WXGA	1280×768	15:9	60	8	RGB
	1280×800	16 : 10	60	8	RGB
Quad-VGA	1280×960	4:3	60	8	RGB
SXGA	1280×1024	5:4	60	8	RGB
FWXGA	1366×768	16:9	60	8	RGB
SXGA+	1400×1050	4:3	60	8	RGB
WXGA+	1440×900	16 : 10	60	8	RGB
WSXGA+	1680×1050	16 : 10	60	8	RGB
UXGA	1600×1200	4:3	60	8	RGB
Full HD	1920×1080	16:9	60	8	RGB
WUXGA	1920×1200	16 : 10	60 Reduced Blanking	8	RGB
2K	2048 × 1080	16 : 9	24/25/30/50/60	8/10/12	RGB/ YCbCr4:4:4/ YCbCr4:2:2
4KUHD	3840 × 2160	16:9	24/25/30	8/10/12	YCbCr4:2:2
			50/60	8	YCbCr4:2:0
HDTV(1080p)	1920 × 1080	16:9	24/25/30/50/60		RGB/
HDTV(1080i)	1920×1080	16:9	50/60	8/10/12	YCbCr4:4:4/
HDTV (720p)	1280×720	16:9	50/60		YCbCr4:2:2

DisplayPort

信号名	解像度(ドット)	アスペクト 比	垂直走査周波数 (Hz)	色深度 (ビット)	信号形式
VGA	640×480	4:3	60	8	RGB
SVGA	800×600	4:3	60	8	RGB
XGA	1024 × 768	4:3	60	8	RGB
HD	1280 × 720	16:9	60	8	RGB
WXGA	1280 × 768	15:9	60	8	RGB
	1280 × 800	16 : 10	60	8	RGB
Quad-VGA	1280×960	4:3	60	8	RGB
SXGA	1280 × 1024	5:4	60	8	RGB
FWXGA	1366 × 768	16:9	60	8	RGB
SXGA+	1400 × 1050	4:3	60	8	RGB
WXGA+	1440×900	16 : 10	60	8	RGB
WSXGA+	1680 × 1050	16 : 10	60	8	RGB
UXGA	1600 × 1200	4:3	60	8	RGB
Full HD	1920×1080	16:9	60	8	RGB

信号名	解像度(ドット)	アスペクト 比	垂直走査周波数(Hz)	色深度 (ビット)	信号形式
WUXGA	1920 × 1200	16 : 10	60 Reduced Blanking	8	RGB
2K	2048×1080	16:9	24/25/50/60	8/10/12	RGB
4KUHD	3840 × 2160	16:9	24/25/30	8/10/12	RGB
			50/60	8	RGB
4K+	3840×2400	16:9	24/25/30/50/60	8/10/12	
			Reduced Blanking		nud
HDTV(1080p)	1920 × 1080	16:9	24/25/30/50/60		
HDTV(1080i)	1920 × 1080	16:9	50/60	8/10/12	RGB
HDTV (720p)	1280 × 720	16:9	50/60		

SDI

信号名	解像度(ドット)	アスペクト 比	垂直走査周波数 (Hz)	色深度 (ビット)	信号形式
HD-SDI (1080p)	1920×1080	16:9	24/25/30	10	YCbCr4:2:2
HD-SDI (1080i)	1920×1080	16:9	50/60	10	YCbCr4:2:2
HD-SDI (1080sF)	1920×1080	16:9	25/30	10	YCbCr4:2:2
HD-SDI (720p)	1280×720	16:9	50/60	10	YCbCr4:2:2
3G-SDI Level A	1920×1080	16:9	50/60	10	YCbCr4:2:2
(1080p)					
12G-SDI Single Link-2SI	3840×2160	16:9	24/25/30	10/12	YCbCr4:4:4/
(2160p)					YCbCr4:2:2
			50/60	10	YCbCr4:2:2
	4096 × 2160	17:9	24/25/30	10/12	YCbCr4:4:4/
					YCbCr4:2:2
			50/60	10	YCbCr4:2:2

 アドバンスド・アキュブレンドの場合、文字や罫線の太さなどが不均一になったり、色がにじんだりする場合が あります。

・ 出荷時はその表示解像度/周波数の標準的な信号に合わせていますが、コンピューターの種類によっては調整が 必要な場合があります。

8-3.仕 様

形名			XP-X171Q-B	XP-X141Q-B	
方式			1 チップ DLP 方式		
表示解像度			9,216,000 画素(3840 ドッ	ト× 2400 ライン)	
	DMD パネル	サイズ	0.8 型(20.3 mm)		
+			アスペクト比 16:10		
」		画素数 (*1)	2,304,000 画素(1920 ドッ	ト× 1200 ライン)	
部	投写レンズ		投写レンズ仕様 (別売) をご	覧ください。(→132ページ)	
品什		ズーム			
		フォーカス	電動		
様		レンズシフト			
	光源		レーザーダイオード+蛍光体		
明	るた ^{(*2)(*3)}		16500 lm	13500 lm	
			AC 100 V 時 14000 lm		
面面	面サイズ (投写	[[[]]][[]]][[]]][[]]][[]]][[]]][[]]][[]]][[]]][[]]][[]]][[]][[]]][[]][[]]][[][]	$50 \sim 600 型 (投写距離はレン$	「ズコニットにより異なります)	
白日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日			10 ビット カラープロセッシ	ング (約 10 億 7000 万色)	
走		zk平	15 kHz $24 \sim 153 \text{ kHz}$		
	<u> </u>		24 25 30 48 Hz 50	~ 85 Hz 100 120 Hz	
		<u>半</u> 戸 映像入力	24, 20, 00, 40112, 00	00112, 100, 120112	
			Deep Color, LipSync, HD	CP (*4), 4K	
	HDBasaT		BI-45 × 1		
2	TIDDaseT		Deep Color, LipSvnc, HD	CP (*4), 4K	
出		制御	100BASE-TX, P.II ink class	s1	
力	SDUN	映像入力	$BNC \times 1$ 12G		
「「「「」」	SDLOUT	映像入力	BNC \times 1 12G		
	DisplayPort	映像入力	DisplayPort $\times 2$		
	1/2		Deen Color LinSvnc HDC	ο (*4) ΔK	
	USB		USB タイプ A × 1、電源供給 5.0V/2.0A		
			BJ-45 × 1, 10BASE-T/100BASE-TX.		
制			P.II ink class1		
御			D-Sub9ピン×1		
日			D-Sub 9 \mathcal{C} X 1		
力	WIRED REM		$\overline{z_{r}}$		
端			$\frac{1}{2} \frac{1}{2} \frac{1}$		
f	TRIGGER		$\frac{1}{2} \frac{1}{2} \frac{1}$		
 フピーカー					
ハニーク			動作迴座 :0 ~ 45 ℃		
			動作湿度:20 ~ 80 %(ただ	し、結露しないこと)	
			保存温度:-10~60℃		
			保存湿度:20~80%(ただ	し、結露しないこと)	
			動作高度: 0~3000 m		
			(1499 ~ 3000 m はファンF	Eード「強I)	

形名		XP-X171Q-B XP-X141Q-B	
電源		AC 100 ~ 240 V 50/60 Hz	AC 100 V 50/60 Hz
消費電力		1080 W (AC 100 \sim 130 V) 1290 W (AC 200 \sim 240 V)	1080 W
消費電力 (スタンバイ時)	ネットワーク 有効時	2.0 W	
	ネットワーク 無効時	0.5 W	
定格入力電流		12.0 A (AC 100 \sim 130 V) 6.0 A (AC 200 \sim 240 V)	10.0 A
外形寸法		500 (幅) × 211 (高) × 577 500 (幅) × 216 (高) × 583	(奥行)mm(突起部含まず) (奥行)mm(突起部含む)
質量		29.7 kg (レンズユニット含まず)	29.4 kg (レンズユニット含まず)

(*1): 有効画素数は 99.99 %です。

(*2): 別売のレンズユニット XP-61ZL を装着し、基準ライトモードが「ノーマル」で基準ライト調整が「100」 (AC 100 V 時は「85」)、プリセットが「スタンダード」のときの明るさです。ライト調整をすると明るさ が低下します。また、プリセットで他のモードを選択すると明るさが多少低下します。

(*3): JIS X6911:2021 データプロジェクターの仕様書様式にそって記載しています。測定方法、測定条件については、附属書 B に基づいています。

(*4): HDCP/HDCP 技術とは?

HDCP とは "High-bandwidth Digital Content Protection" の略称で、HDMI を経由して送信されるデジタ ルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムのことをいいます。HDCP の規格は、 Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。 本機の HDMI 1 および HDMI2 入力端子、DisplayPort 1および DisplayPort 2 入力端子、HDBaseT ポートは、 HDCP 技術を用いてコピープロテクトされているデジタルコンテンツを投写することができます。 ただし、HDCP の規格が変更された場合などは、プロジェクターが故障していなくても、HDMI 1 および HDMI2 入力端子、DisplayPort 1 および DisplayPort 2 入力端子、HDBaseT ポートの映像が表示されない ことがあります。 映像: DeepColor (ディープカラー: 色深度): 8/10/12 ビット、LipSync HDMI: HDCP 2.2/1.4 に対応 DisplayPort: HDCP 1.3 に対応

- (*5):使用環境の温度により、本機の保護機能が働きます。(→63ページ)
- この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。

●投写レンズ仕様(別売)

XP-57UL	電動レンズシフト、電動ズーム、電動フォーカス
	(投写比 0.31 ~ 0.33:1、F 2.05 ~ 2.11、f=5.81 ~ 6.17 mm)
XP-58ZL	電動レンズシフト、電動ズーム、電動フォーカス
	(投写比 0.55 ~ 0.75:1、F 2.04 ~ 2.35、f=10.03 ~ 13.60 mm)
XP-59ZL	電動レンズシフト、電動ズーム、電動フォーカス
	(投写比 0.74 ~ 1.08.:1、F 2.02 ~ 2.33 、f=13.47 ~ 19.67 mm)
XP-60ZL	電動レンズシフト、電動ズーム、電動フォーカス
	(投写比 1.05 ~ 1.41:1、F 1.90 ~ 2.08 、f=18.78 ~ 25.30 mm)
XP-61ZL	電動レンズシフト、電動ズーム、電動フォーカス
	(投写比 1.40 ~ 2.11:1、F 1.80 ~ 2.11 、f=25.04 ~ 37.57 mm)
XP-62ZL	電動レンズシフト、電動ズーム、電動フォーカス
	(投写比 2.10 ~ 4.00:1、F 1.90 ~ 2.44 、f=37.23 ~ 70.60 mm)

・投写比は 100 型の画面を投写する場合の値です。

・XP-57UL と XP-58ZL の発売日は未定です。発売予定についてはホームページを参照く ださい。

8-4. 外観図

単位:mm



a:レンズ中心 / b:天吊り金具取り付け用ネジ穴^{**}(6 箇所)M4mm 深さ 16mm ** 天吊り金具の取り付けは、販売店に依頼してください。

設置業者様は、天吊り金具の取扱説明書に従って、金具と6箇所すべての固定用 ネジを確実に取り付けてください。

天吊り金具(別売)取り付け図

天井設置面寸法図(単位:mm)



注)天吊り金具が 左右0度、上下0度、傾き0度の位置です。

8-5. 主な端子のピン配列と信号名

● HDMI IN 1/2 端子(タイプ A)



ピン番号	信号	ピン番号	信号
1	TMDS データ 2 +	11	TMDS クロック
			シールド
2	TMDS データ 2	12	TMDS クロックー
	シールド		
3	TMDS データ 2 -	13	CEC
4	TMDS データ1+	14	非接続
5	TMDS データ 1	15	SCL
	シールド		
6	TMDS データ1-	16	SDA
7	TMDS データ 0 +	17	DDC/CEC 接地
8	TMDS データ 0	18	+5V電源
	シールド		
9	TMDS データ 0 -	19	ホットプラグ検出
10	TMDS クロック+		

● HDBaseT ポート (RJ-45)



ピン番号	信号
1	TxD + / HDBT0 +
2	TxD - / HDBT0 -
3	RxD + / HDBT1 +
4	非接続 / HDBT2 +
5	非接続 / HDBT2 -
6	RxD – / HDBT1 –
7	非接続 / HDBT3 +
8	非接続 / HDBT3 -

● USB-A ポート(USB タイプ A)



ピン番号	信号
1	VBUS
2	D —
3	D +
4	接地

● PC コントロール端子 (D-Sub 9 ピン)



ピン番号	信号
1	未使用
2	RxD 受信データ
3	TxD 送信データ
4	未使用
5	接地
6	未使用
7	RTS 送信要求
8	CTS 送信可
9	未使用

● DisplayPort IN 1/2 端子 (DisplayPort)



ピン番号	信号	ピン番号	信号
1	メインリンク レーン3-	11	接地0
2	接地3	12	メインリンク レーン0+
3	メインリンク レーン3+	13	コンフィグ1
4	メインリンク レーン2-	14	コンフィグ2
5	接地2	15	補助チャンネル+
6	メインリンク レーン2+	16	接地 4
7	メインリンク レーン1-	17	補助チャンネルー
8	接地 1	18	ホットプラグ検知
9	メインリンク レーン1+	19	リターン
10	メインリンク レーン0-	20	+3.3V 電源

●スクリーントリガー端子(ステレオ・ミニ)

本機には、スクリーンをコントロールするための制御電圧を出力する、スクリーントリガー端子があります。

- ・スクリーントリガー端子を有効にするには、本機のメニューの設定(1)のトリガー を「オフ」以外にします(→101ページ)。
- ・市販のステレオミニケーブルを使用して、本機のスクリーントリガー端子と、市販の スクリーンコントロール機器を接続します。詳しくは、スクリーン・メーカーにお問 い合わせください。
- ・本機のスクリーントリガー端子から出力される制御電圧は次のとおりです。



【注意】

- スクリーントリガー端子は、スクリーンコントロール以外の目的では使用しないでく ださい。
 - 誤ってリモコンケーブルを接続すると、リモコンが故障します。

8-6. ポートレート(縦向き)投写をする

本機を縦向きに設置することでコンピューターなどのポートレート画面を投写することができます。 オンスクリーン表示(メニュー、入力端子、メッセージ)の向きは、オンスクリーンメニューの設定(2) →メニュー設定→メニュー角度で設定できます。





設置上のご注意

- ●床や台の上に本体をそのまま縦向きで設置しないでください。転倒して故 障や破損、けがの原因となります。また、吸気口が塞がれて内部の温度が 上昇し、故障や火災の原因となります。
- 吸気の確保や転倒防止のために、本体を支えるスタンドを必ず製作してください。このとき本体の重心がスタンド脚の内側に十分入る様に設計してください。転倒して故障や破損、けがの原因となります。

スタンド設計製作の条件

専用のスタンドをプロジェクター設置業者にご依頼ください(有料)。設計に際しては次 のことをお守りください。

- 本体の底面に3箇所の通風口があります。塞がないように設計してください。
- ●本体背面にある6箇所のネジ穴を使ってスタンドと固定してください。
 ネジ穴センター寸法:300 × 300 (ピッチ =150) mm
 本体のネジ穴寸法:M4ネジ最大深さ16mm
 4箇所のチルトフットは回して外すことができます。
- 水平調整機構(たとえばボルトとナット:4箇所)
- スタンドは容易に転倒しないよう設計してください。

参考図

※寸法条件を表す図で、実際のスタンド設計図ではありません。



8-7. プロジェクターをスタック設置して投写する

プロジェクターを上下に積んで同じ映像 を重ねてスクリーンに投写することによ り、さらに輝度を上げることができます。 これを「スタック投写」と呼びます。 本機は、2台のプロジェクターを上下に 積む「スタック設置」に対応しています。





【注意】

- 異なった形名のプロジェクターを混在してスタック設置することはできません。 また、別売のレンズユニットは同じ形名のものを使用してください。
- スタック設置する際は、下側のプロジェクターの天面に添付のスタッキングホルダー (4 個)を取り付けてください。(次ページ)
- 本機のスタック投写は、細かい文字や CAD などの画像が完全に重なるような精度は ありません。
- スタック投写する場合は、あらかじめ市販の信号分配器をお買い求めください。
- 設置上のご注意
 - ・設置や調整はお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご依頼ください。
 - ・スタック設置の場所や構造物は、本機2台分の質量に長期間耐えうる強度を確保し てください。本機1台の質量は、最大約33kg(レンズユニットを含む)です。
 - ・地震などによる転倒防止対策を十分に施してください。
 - ・本機を2台使用すると、より高温になります。室内が適切な温度になるように調節 してください。
 - ・天井にスタック設置することはできません。
 - ・最適な状態で使用するためには、1時間程度のウォームアップが必要です。
 - ・スタック設置した場合、上側のプロジェクターは、下側のプロジェクターのチルト フット調整量がプラスされます。上側のプロジェクターの姿勢が仕様範囲を超えな いように注意してください。
 - ・レンズユニットは、ズームの+ (ワイド) 側と- (テレ) 側で幾何学歪みが異なります。 できるだけ歪みが小さくなるズーム位置を選んで設置してください。
 - ・横方向のレンズシフト位置はセンターに合わせてください。

●スタッキングホルダーの取り付け方法

下側のプロジェクターの天面に取り付けます。

- 準備:プラスドライバーと添付のスタッキングホ ルダー4個を用意してください。 プロジェクターのチルトフット(4箇所) を縮めてください。
- 1. ゴムキャップとネジを外す(4箇所) ① 爪やピンセットでゴムキャップを押さえ て持ち上げると外れます。
 - ② ネジを左へ回して取り外します。
- スタッキングホルダーを取り付ける (4箇所)。
 - ① スタッキングホルダーを差し込みます。
 - ・どの向きでもかまいません。
 - ② 外したネジを使い右へ回してしめ付けます。
 - ③外したゴムキャップをスタッキングホル ダーに差し込みます。
 - ・ゴムキャップにある爪部を左右の角穴に 挿入してください。
- プロジェクターをのせる。
 スタッキングホルダーにプロジェクターのチ ルトフット(4箇所)をのせてください。

【参考】

スタッキングホルダーを取り外す場合は、
 上記の手順を逆に行ってください。



8-8. 故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度接続や設定および操作に間違いがないかご確認ください。 それでもなお異常なときはお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせく ださい。

現象と確認事項

このようなとき	確認してください	参照ページ
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	46
	内部温度が高くなっていませんか。内部の温度が異常	146
	に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待っ	
	てから電源を入れてください。	
	上記の電源コードの接続、本機の内部温度上昇などが	58
	原因として考えられない場合は、電源プラグをコンセ	
	シトから抜いてください。そして約5分間待って再び	
	電源フラクをコンセントに接続してくたさい。	
使用中に電源が切れ	オンスクリーンメニューのオートパワーオフを オン	105
6	(時間を選択)」にしていませんか。	
映像が出ない	接続している入力を選んでいますか。本体の入力切替	50
	ボタンまたはリモコンの入力を選択するボタンを再度	
	押してください。	
	入力端子のケーブルが正しく接続されていますか。	113
		118
		84
	か。	
	SHUTTER CLOSE ボタンが押されていませんか。	60
	入力信号が対応している解像度、周波数になっていま	127
	すか。	
	HDMI1 入力端子および HDMI2 入力端子の映像がうま	—
	く投写できない場合は次の点をご確認ください。	
	お使いのコンピューターに内蔵されているグラフィッ	
	クボードのドライバーを再インストールください。ま	
	たは最新のバージョンアップを適用してください。	

次ページに続く

8.付 録

このようなとき	確認してください	参照ページ
映像が出ない	再インストール、最新のバージョンアップに関しては、	—
	コンピューター、グラフィックボードの取扱説明書を	
	参照いただくか、コンピューターのサポート窓口にお	
	問い合わせください。	
	なお、最新ドライバーや最新 OS は、お客様の責任に	
	おいてインストールしていただきますようお願いいた	
	しまり。これらイノストールに起因りるトフノル、个 目合については、切の声にた合わたいたのとします	
	具口については一切の負仕を見わないものとします。 したり、ませたに送燃用にたっては信日が対応してい	
	HDBasel 対応伝达機器によつくは信号か対応してい たい場合がたります。また IP - PO 0000 が対応です	_
	はい場合かのります。また IR、KS-232し か刈心でさ たい坦会がちります	
	ない場口がのりより。	77
	合設化が止しく調発・設化されていますが。	//
	それでも解決しない場合は、リセットをしてくたさい。	107
	本機の動作温度内であっても、人リーブ状態か長く続	_
	いに場合などに内部か局温になることかのりまり。こ	
	のとさに電源を入れると、冷却ノアノのみが動作して、 映色が地定されるまでに時間がかかります	
	吠像が女子されるまとに时间がかかります。 げらくお法ちください	
 	しはらくの付らくたとい。	<u> </u>
映像が走む 	止しく改直されていますが。	
	ロル状に正り場口はロル相圧と詞登してくたさい。	04、92 E4
「吹豚小はやける	レノスのフォーカスはロウといますか。	04 51
	投 う 回 国 と や 様 が 止 し い 月 皮 で 設 値 さ れ し い ま タ か 。	
	投与距離かりオーカスの範囲を超えていませんか。	121
	レンズシフトの移動量が保証範囲を超えていませんか	125
	レンズなどが結露していませんか	—
	気温が低い所に保管しておいて温かい所で電源を入れ	
	るとレン人や内部の光字部か結露することかめりま	
	9 。このようは場合は結露かはくはるまで数分の待ら イギキい	
 	くんごい。	
映像//1110	本機に接続している信号ゲーノルが断線していません か。	
映像が突然暗くなっ	室温が高いと、本機の保護機能が働いて、一時的に輝	63
<i>t</i> c	度(明るさ)が下がることがあります。	
	室温を下げてください。	
水平または垂直方向	入力信号が対応している解像度、周波数になっていま	127
に映像がずれて正常	すか。	
に表示されない		

このようなとき	確認してください	参照ページ
リモコンで操作でき	リモコンのリモコン送信部を本体のリモコン受光部に	43
ない	向けていますか。	
	リモコンの乾電池が消耗していませんか。新しい乾電 池と交換してください。	42
	リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物があ りませんか。	43
	リモコンの有効範囲を超えていませんか。	43
	コントロール ID 機能を設定している場合、リモコン の ID 番号とプロジェクターの ID 番号は一致していま すか。	101
オンスクリーンメ ニューが表示されな い	オンスクリーンミュートになっていませんか。 リモコンの CTL ボタンと OSD OPEN ボタンを同時 に押すと解除できます。	60
インジケーターが点 滅する	インジケーター表示一覧をご覧ください。	145
本機の動作が不安定になる	電源プラグをコンセントから抜いてください。そして 約5分間待って再び電源プラグをコンセントに接続し てください。	58
8-9. インジケーター表示一覧

本体操作部のインジケーターが点灯、点滅しているときは、以下の説明を確認してください。



a:電源インジケーター b:ステータスインジケーター c:ライトインジケーター d:温度インジケーター

●通常のインジケーター表示

POWER	STATUS	LIGHT	TEMP.	本機の状態
				主電源が切れている
(消灯)	(消灯)	(消灯)	(消灯)	
				スタンバイ状態へ移行中 本体冷却中
オレンジ色(点滅*1)	(消灯)	(消灯)	(消灯)	
₩				スタンバイ状態(ネットワークが無効)
赤色(点灯)	(消灯)	(消灯)	(消灯)	
*				スタンバイ状態(ネットワークが有効)
オレンジ色(点灯)	(消灯)	(消灯)	(消灯)	
*		₩		電源オン状態
緑色(点灯)	(消灯)	緑色 (点灯)	(消灯)	
(各状態)	オレンジ色 (2 回周期 点滅 ^{*2})	(各状態)	(消灯)	レンズキャリブレーション実行要求(画 面にレンズキャリブレーション実行要求 のメッセージを表示)
★ 緑色 (点灯)	禄 色 (2 回周 期点滅 ^{* 2})	(各状態)	(消灯)	レンズキャリブレーション中
★ 緑色(点灯)	(各状態)	禄 色(点滅 ^{**3})	(消灯)	レンズシャッターが「閉」の状態(光源 が消灯)
·····································				電源オン準備中
			(IVEV)	

*1 0.5 秒点灯 /0.5 秒消灯のくり返し

**2 0.5 秒点灯 /0.5 秒消灯 /0.5 秒点灯 /2 秒消灯のくり返し

*3 0.5 秒点灯 /5 秒消灯のくり返し

●異常時のインジケーター表示

POWER	STATUS	LIGHT	TEMP.	本機の状態	処置方法
₩ 緑色(点灯)	(消灯)	米 オレンジ色 (点灯)	(消灯)	周囲高温	周囲の温度が高くなっている ため、保護機能が働いていま す。室温を下げてください。
★ 緑色 (点灯)	(消灯)	(消灯)	赤色 (点滅 ^{**1})	温度エラー	室温が、本機の動作温度(0 ~45℃)を超えています。適 切な室温に調節してください。 また、排気口がふさがれてい ないか、吸気口の近くに他の プロジェクターの排気口がな いか確認してください。
(各状態)	赤色 (点滅 ^{** 4})	(消灯)	(消灯)	レンズ未装着	レンズが正しく取り付けられ ているか確認してください。
(各状態)	赤色 (上記以外の点滅、 または点灯)	(各状態)		修理が必要な異 常発生中	お買いあげの販売店またはお 客様ご相談窓口へ修理を依頼 してください。その際に、イ ンジケーターの点灯状態をお 知らせください。
	(各状態)	赤 色 (点滅 ^{*2*4})			

*1 0.5 秒点灯 /0.5 秒消灯のくり返し

*2 0.5 秒点灯 /0.5 秒消灯 /0.5 秒点灯 /2 秒消灯のくり返し

**4 0.5 秒点灯 /2 秒消灯のくり返し

●温度プロテクターが働いたときは

本機内部の温度が異常に高くなると、温度インジケーターが赤色で短く点滅します。 その後、本機の温度プロテクター機能が働いて、本機の電源が切れることがあります。 このようなときは、以下の処置をしてください。

- ・電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・周囲の温度が高い場所に置いて使用しているときは、涼しい場所に設置しなおしてくだ さい。
- ・通風口にほこりがたまっていたら、清掃してください。(→119ページ)
- ・本機内部の温度が下がるまで、約1時間そのままにしてください。

8-10. トラブルチェックシート

本シートはトラブルに関するお問い合わせの際、迅速に故障箇所を判断させていただくた めにご記入をお願いするものです。本書の「故障かな?と思ったら」をご覧いただき、そ れでもトラブルが回避できない場合、本シートをご活用いただき、具体的な症状をお買い あげの販売店またはお客様ご相談窓口の受付担当者へお伝えください。 ※このページを次のページを印刷してお使いください。

発生頻度 常時 時々(回中	回) 2 その他()
電源財係 ■ 電源が入らない (電源ィンジケーターが青色に点灯しない)。 ■ 電源ブラグはコンセントにしっかり挿入されている。 ■ ④ボタンを押しても電源が入らない。 ■ (④ボタンを押しても電源が入らない。	─ 使用中、電源が切れる。 ─ 電源ブラグはコンセントにしっかり挿入されている。 ─ オートパワーオフは「オフ」に設定されている。
 □ コンピューターの画面が投写されない。 □ コンピューターと本機を接続したあとにコンピューターを起動してもなおらない。 □ ノートブックコンピューターにおいて外部出力信号が出力されている。 Windowsの場合は、[Fn]キー+[F1]~[F12]キーの Windowsの場合は、[Fn]キー+[F1]~[F12]キーの 	 映像が歪む。 台形に歪む(台形補正を実行してもなおらない)。 映像が切れる。 リセットを実行してもなおらない。 水平または垂直方向に映像がずれる。
いずれがを押すと外部出力信号が出力されます(コン ビューターによって異なります)。	□ンピューター映像入力の場合、水平位置・垂直位 置は正しく調整されている。 □ 入力は対応している解像度・周波数の信号である。 数ドット欠けている。 □ サセットを実行してもなおらない。 □ コンピューター映像入力で文字がちらついたり、色が ずれている。 □ ファンモードを「強」から「自動」にしてもなおら ない。
□ 映像が暗い。 □ 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。	── 映像がぼやける・フォーカスが合わない。
その他 リモコンが利かない。 リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物はない。 蛍光灯の近くに本体が設置されている。 ブロジェクター本体のIDとリモコンのIDは一致している	 本体操作パネルのボタンが利かない。 本体キーロック設定のある機種において 本体キーロック設定は「オフ」または「無効」に設定されている。 本体のEXITボタンを10秒以上押しても

症状を具体的に記入してください。

使用状況・環境



8-11. 別売品

商品名		形名
プロジェクター用レンズ	電動ズームレンズ	XP-57UL
	電動ズームレンズ	XP-58ZL
	電動ズームレンズ	XP-59ZL
	電動ズームレンズ	XP-60ZL
	電動ズームレンズ	XP-61ZL
	電動ズームレンズ	XP-62ZL
天吊り金具		XP-15CM

・ XP-57UL と XP-58ZL の発売日は未定です。発売予定についてはホームページを参照く ださい。

8-12. HTTP サーバー画面のログインパスワードを設定する

ご購入後はじめて HTTP サーバーに接続するときは、パスワードを設定してください。

- 準備:● 本機とコンピューターを市販の LAN ケーブルで接続する。(→ 118 ページ)
 - オンスクリーンメニューの「設定(1)」→「ネットワーク設定」→「有線 LAN」
 を選択し、ネットワークの設定をする。(→ 103 ページ)
 - コンピューターのウェブブラウザーを起動 し、アドレスまたは URL の入力欄へ 「http://〈本機の IP アドレス〉/index. html」と指定する。
 HTTP サーバーのログイン画面が表示されます。
 - Password」欄に初期パスワードを入力して「Login」ボタンをクリックする。
 - ・初期バスワードは、MAC アドレスから「:」を 除いた 12 文字です。
 - 例) MAC アドレスが 00:00:5E:00:53:00 の場 合、初期パスワードは 00005E005300 と入 力します。
 - パスワード変更画面が表示されます。

XP-X141Q Login

ADDRESS: TRE 1	68.0.100
AC ADDRESS 04	82:34.D6:08.FF
Username	
admin	
Password	
Enter Password	
Show Password	
	Login

Change Password

IP ADDRESS 192.168.0.100

admin		
New Password		
password		
Confirm Passwor	d	
password		
Show Password		

3. 「New Password」欄に任意のパスワードを入力し、同じパスワードを 「Confirm Password」欄に入力して、「Login」ボタンをクリックする。

・パスワードに設定できるのは 18 文字までの英数字と記号です。

0~9、A~Z、a~z、@._-

パスワードが設定され、HTTP サーバー画面が表示されます。

[重要]

● パスワードは、忘れないように必ずメモしておいてください。

[注意]

●パスワードを入力する時に、周囲の人にパスワードを盗み見られて悪用されないよう に、パスワードの入力に細心の注意を払ってください。 もし盗み見られたと思った場合は、速やかにパスワードを変更してください。

8-13. バックグラウンドロゴを登録する

画像をプロジェクターへ送信して、バックグラウンドロゴとして登録することができます。

ロゴとして登録する画像を用意する

ロゴ画像の条件

- · ファイル名: UserLogo.bmp
- ファイル形式: BMP (RGB565)
- ・ 画像サイズ:最大 1920 x 1200
- · 色深度:最大 16 bit

バッチファイルをダウンロードする

- ホームページにアクセスする。 https://smj.jp.sharp/r/31/
- user_logo.zip をダウンロードして解凍し、UserLogo.bat をコンピューターに保存 する。

ネットワーク設定をする

- オンスクリーンメニューの「設定(1)」→「ネットワーク設定」→「有線 LAN」を選択し、 プロジェクターのネットワークを設定する。(→ 103 ページ) IP アドレス: 192.168.0.XXX
- ② オンスクリーンメニューの「設定(2)」→「電源設定」→「スタンバイモード」を「LAN」
 に設定する。
- ③ プロジェクターの電源を切り、スタンバイ状態にする。
- ④ コンピューターのネットワークを設定する。
 IP アドレス: 192.168.0.YYY
 サブネットマスク: 255.255.255.0 (プロジェクターと同じ)

TFTP を有効にする

- コンピューターの「Windows」キーと「R」キーを同時に押す。
 「ファイル名を指定して実行」ウィンドウが表示されます。
- ②「appwiz.cpl」と入力して「OK」をクリックする。
- ③「Windowsの機能の有効化または無効化」をクリックし、「TFTP クライアント」に チェックを入れて「OK」をクリックする。
- ④ コンピューターを再起動する。

プロジェクターに画像を送信する

- ① プロジェクターとコンピューターを、LAN ケーブルと RS-232C ケーブルで接続する。
- ② プロジェクターの電源を入れる。
- ③ コンピューターからプロジェクターへ RS-232C コマンドを送信する。
 - 1.「op demsg = 1」を送信して「OP DEMSG = 1」を受信する。
 - 2.「op active.warp = 6」を送信して「OP ACTIVE.WARP = 6」を受信する。

次ページへ続く

- 3.「op dbf.send = 1」を送信する。
- 4. 「UserLogo.bat」を実行して「OP DBF.SEND = 1」を受信する。
- 5. [op cust.wp.write = 10]を送信して[File Write Process Completely]を受信する。
- 6.「op dbf.send = 0」を送信して「OP DBF.SEND = 0」を受信する。
- 7.「op active.warp = 0」を送信して「OP ACTIVE.WARP = 0」を受信する。
- 8. [op demsg = 0] を送信して「OP DEMSG = 0] を受信する。

ASCII	HEX	Decimal	Binary	C	Communication
2024/11/	19 15:54	:39.092	[TX] - op	demsg = 1 <cr></cr>	
2024/11/	19 15:54	:39.136	[RX] - OP	DEMSG = 1 <cr><lf></lf></cr>	
2024/11/	19 15:54	:42.791	[TX] - op	active.warp = 6 <cr></cr>	
2024/11/	19 15:54	:42.846	[RX] - OP	ACTIVE.WARP = 6 <cr><lf></lf></cr>	
2024/11/	19 15:54	:45.799	[TX] - op	dbf.send = 1 <cr></cr>	
2024/11/ 0.open f Write Fi VDO BD O Transfer TFTP Tra OP DBF.S	19 15:55 ile = 39 le to VD pen File to VDO: nsfer Do END = 1<	:31.402 9480 <cr> 0, Ack B DbD_EB. (400571 me: (406 CR><lf></lf></cr>	[RX] - Us <lf> lock Num bin Done.)<cr><lf> 448)<cr><</cr></lf></cr></lf>	erLogo.bmpUserLogo.bmpuse the latest file <cr><lf> = @CCR><lf> <cr><lf> LF></lf></cr></lf></lf></cr>	
2024/11/	19 15:56	:38.322	[TX] - op	<pre>cust.wp.write = 10<cr></cr></pre>	
2024/11/	19 15:56	:38.372	[RX] - OP	CUST.WP.WRITE = 10 <cr><lf> </lf></cr>	
[VDO] ## .[VDO] # [VDO] ## [VDO] ##	# Chane ## Chane # Chane # Chane	state fr state fr state fr state fr	om 5 to 6 rom 6 to om 7 to 8 om 8 to 3	‹‹ርቅ›ርዞን ›‹ርቅ›ርዞን ‹‹ርቅ›ርዞን	
			•••••		
	•••••	•••••	•••••		
	•••••		•••••		
					[VD01
### Chan	e state	from 3 t		E) VORMEN	
[000] **	* chane	state ii			
				[SYS] Tx Packet ID(dfh) CLS-Cmd(60h-30h) Over TTL <cr><lf></lf></cr>	
	• • • • • • • • •	•••••	• • • • • • • • • •		
File Wr	ite Proc	ess Comp	letely. <c< td=""><td>R><lf></lf></td><td></td></c<>	R> <lf></lf>	
2024/11/	19 16:09	:24.031	[TX] - op	dbf.send = 0 <cr></cr>	
2024/11/	19 16:09	:24.080	[RX] - OP	DBF.SEND = 0 <cr><lf></lf></cr>	
2024/11/	19 16:09	:26.235	[TX] - op	active.warp = 0 <cr></cr>	
2024/11/	19 16:09	:26.290	[RX] - OP	ACTIVE.WARP = 0 <cr><lf></lf></cr>	
2024/11/	19 16:09	:28.058	[TX] - op	demsg = 0 <cr></cr>	
2024/11/	19 16:09	:28.100	[RX] - OP	DEMSG = 0 <cr><lf></lf></cr>	

④ プロジェクターの電源を切る。
 これで、プロジェクターにロゴ画像が登録されました。

プロジェクターの電源を入れて、オンスクリーンメニューの「設定 (2)」→「バックグラウンド」 を「ロゴ」に設定すると、無信号時の背景に画像を表示します。

アフターサービスについて

■ 製品の保証について

● この製品には保証書がついています。保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡し しますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。

● 保証期間はお買いあげの日から3年間です。
 本製品には有寿命部品(光学エンジン、光源ユニットなど)が含まれます。
 有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境(温度、湿度など)の条件により異なります。
 長時間連続使用など、ご使用状況によっては製品の保証期間内であっても有料での部品

交換が必要になりますので、シャープサポートページ(裏表紙)をご確認ください。

■ 補修用性能部品について

当社は、本製品の補修用性能部品を製造打切後、8年間保有しています。 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。

■ 修理を依頼されるときは

先に「故障かな?と思ったら」(→142ページ)をお読みのうえ、もう一度お調べください。 それでも異常があるときは、使用をやめて、電源コードをコンセントから抜き、お買いあ げの販売店またはもよりのお客様ご相談窓口にご連絡ください。ご自分での修理はしない でください。たいへん危険です。

品名 プロジェクター 米A XP-X171Q-B
XP-X141Q-B
(取り付けている別売品があれば、その形名も連絡ください。) お買いあげ日 (年月日) ばやうについているののでのできるだけ具体的に) (できるだけ具体的に) ご住所 1 お名前 1 電話番号 1

ご連絡していただきたい内容

次ペ-	ジへ続く	
<i>//</i>		•

保証期間中

保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

アフターサービスについてわからないことは、お買いあげの販売店またはもよりのお客様 ご相談窓口にお問い合わせください。



使いかたのご相談など

弊社製品が接続されているシステムの使いかたなどは、ご購入の販売店・ 営業担当にお問い合わせください。

シャープサポートページ:

https://jp.sharp/business/lcd-display/support/

- 問い合わせフォームよりお問い合わせください。
- •「よくあるご質問」もご活用ください。





● 電話番号・受付時間などは変わることがあります。(2025.2)

シャープNECディスプレイソリューションズ株式会社

本社〒108-0073 東京都港区三田一丁目4番28号